

平成 29 年度

逗子市人口データ集

逗 子 市

< 目 次 >

I. 将来人口	
1. 将来人口の推計（国立社会保障・人口問題研究所による推計）	3
1-1. 将来人口の推計（全国、神奈川県、逗子市）	3
1-2. 年齢3区分別人口の推移（逗子市）	4
2. 逗子市総合計画の「目標人口」	5
3. 逗子市人口ビジョンの「将来展望人口」	5
II. 人口等の概況	6
1. 逗子市の人口推移	6
2. 地域別の人口推移	6
3. 合計特殊出生率の推移（全国、神奈川県、逗子市）	7
4. 高齢化率の推移（全国、神奈川県、逗子市）	7
5. 自然増減・社会増減の推移	8
III. 平成 29 年度社会増減による人口動態の状況	
1. 集計の概要	9
1-1. 集計の目的とデータの留意点	9
1-2. 集計項目と地域別分類	10
1-3. 集計結果の要約	11
2. 転入者データの集計	12
2-1. 年齢の状況～何歳の方が転入してきたか～	12
2-2. 転入元地域の状況～どこから転入してきたか～	13
2-3. 転入元地域別の年齢状況～どこから何歳の方が転入してきたか～	14
2-4. 転入先地域の状況	16
3. 転出者データの集計	20
3-1. 年齢の状況～何歳の方が転出したか～	20
3-2. 転出先地域の状況～どこへ転出したか～	21
3-3. 転出先地域別の年齢状況～どこへ何歳の方が転出したか～	22
3-4. 転出元地域の状況～どの地域（町丁目）から転出したか～	24
4. 社会増減の状況	25
4-1. 社会増減数	25
4-2. 社会増減の年齢状況	25
4-3. 社会増減の地域別状況	27
4-4. 社会増減の市内の地域別状況	28

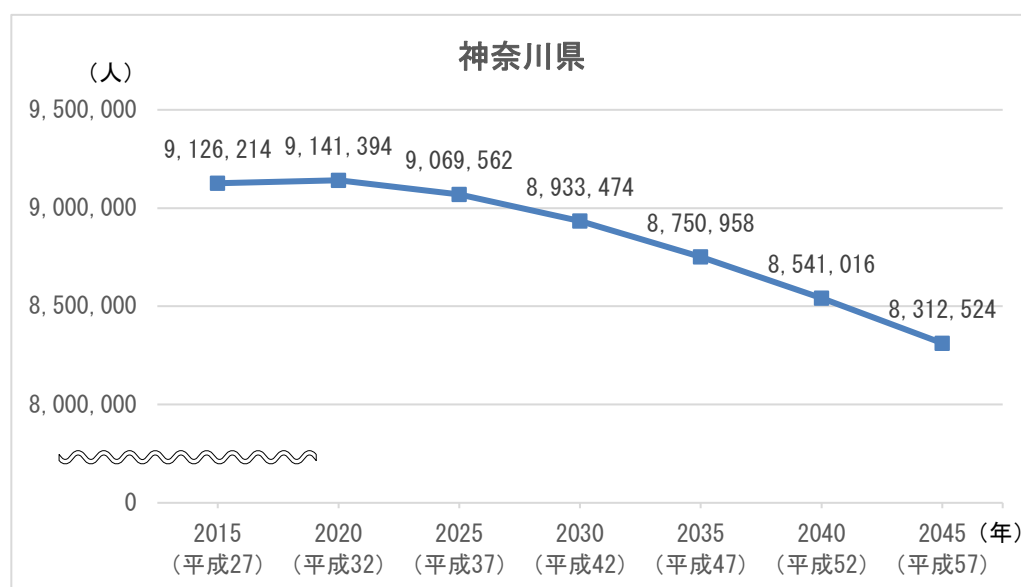
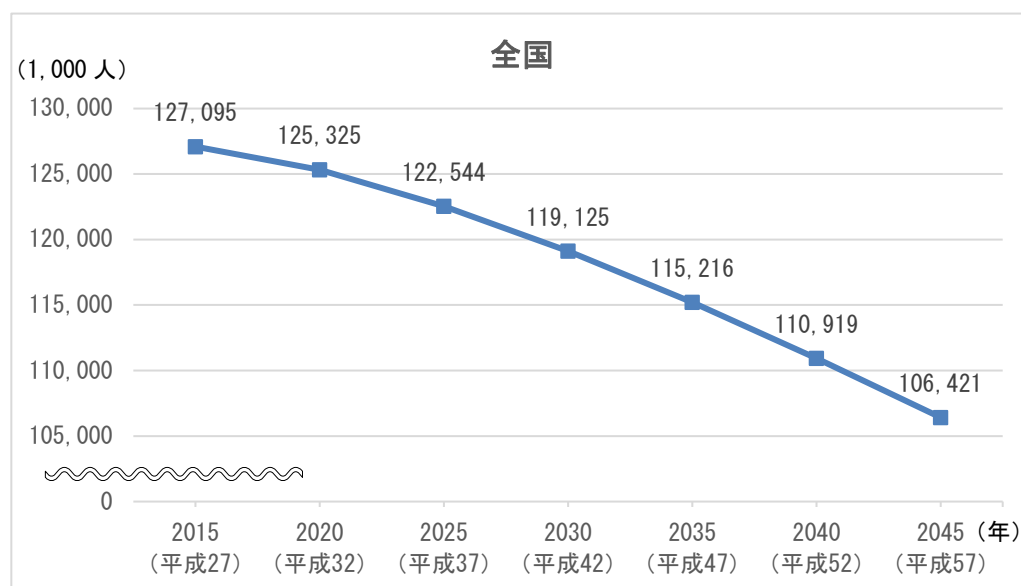
IV. 平成 29 年度転入者・転出者アンケート結果	29
1. アンケート概要	29
1-1. アンケートの目的	29
1-2. アンケートの項目	29
1-3. アンケートの設計	29
1-4. 回収結果	29
2. 市内転入者アンケート集計結果	30
2-1. 転入の事情、きっかけ	30
2-2. 逗子市を転入先として選んだ理由	30
2-3. 以前に逗子市に住んだ経験の有無	32
2-4. 逗子市にずっと住みたいと思うか	33
2-5. 回答者のプロフィール	35
3. 市外転出者アンケート集計結果	37
3-1. 転出の事情、きっかけ	37
3-2. 逗子市に住んでいて良かったと感じた事柄	37
3-3. 逗子市に住んでいて不便または不満に感じた事柄	39
3-4. 事情が許すのであれば、逗子市に戻りたいかどうか	40
3-5. 回答者のプロフィール	42
4. 調査票	45

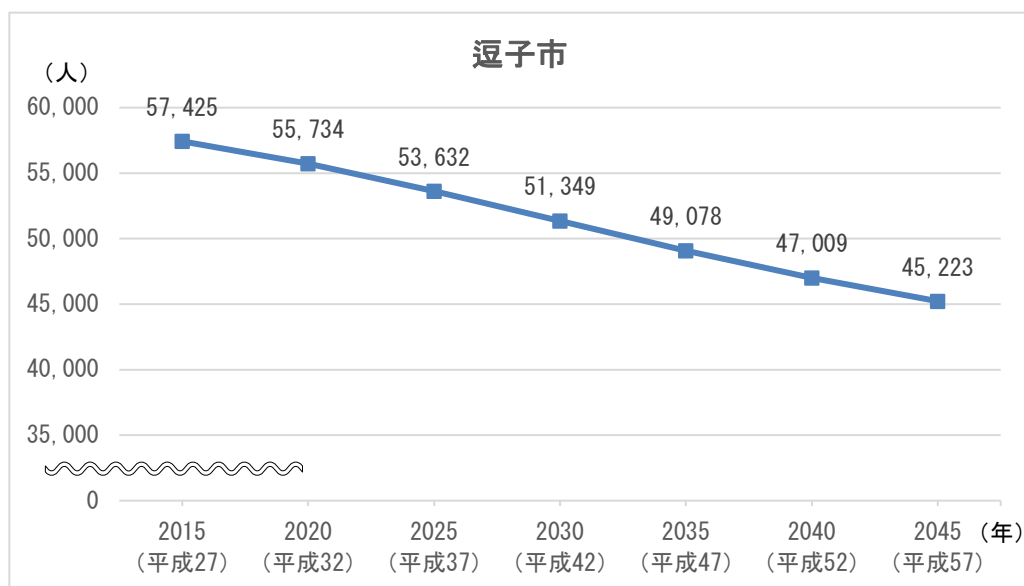
I. 将来人口

1. 将来人口の推計（国立社会保障・人口問題研究所による推計）

1-1. 将来人口の推計（全国、神奈川県、逗子市）

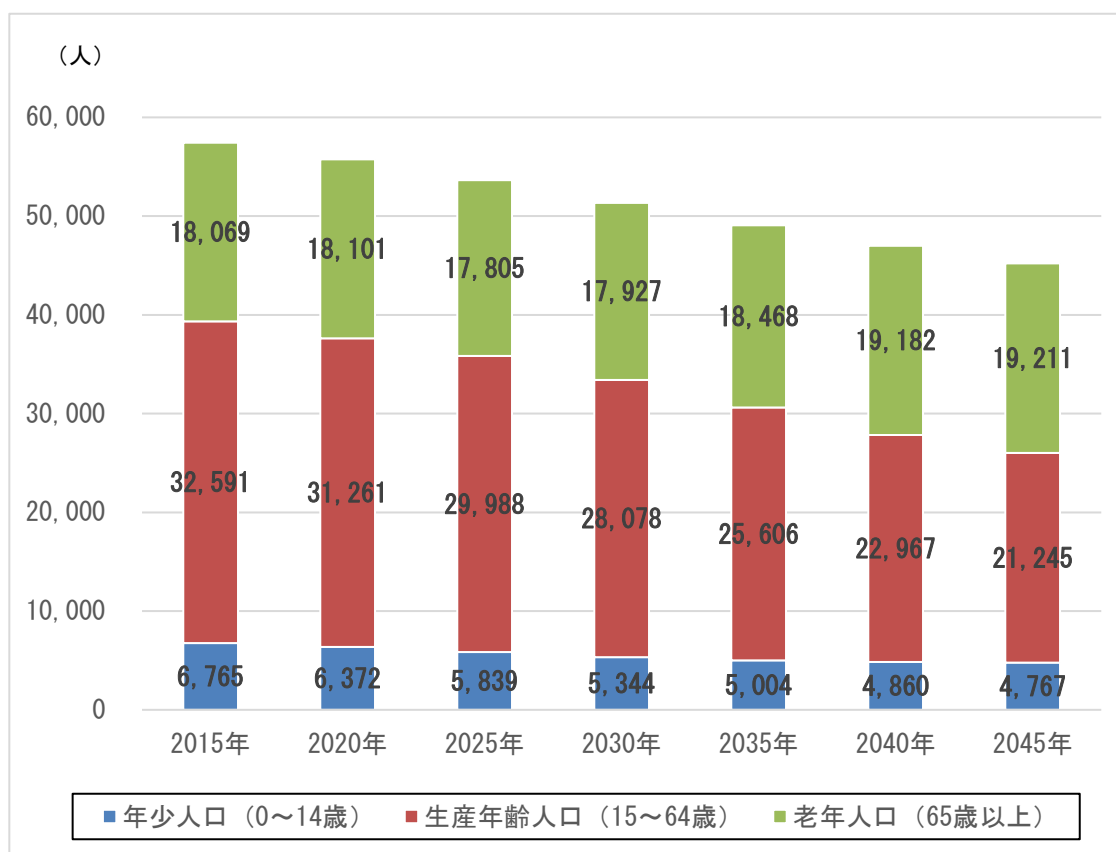
	2015 (平成 27)	2020 (平成 32)	2025 (平成 37)	2030 (平成 42)	2035 (平成 47)	2040 (平成 52)	2045 (平成 57)
全国(1,000人)	127,095	125,325	122,544	119,125	115,216	110,919	106,421
神奈川県(人)	9,126,214	9,141,394	9,069,562	8,933,474	8,750,958	8,541,016	8,312,524
逗子市(人)	57,425	55,734	53,632	51,349	49,078	47,009	45,223





(資料) 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」、
「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

1-2. 年齢3区分別人口の推移（逗子市）



(資料) 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

2. 逗子市総合計画の「目標人口」

年 年齢区分	2014(平成26)		推計値 2022(平成34)		目標値 2022(平成34)	
	人口(人)	構成比(%)	人口(人)	構成比(%)	人口(人)	構成比(%)
年少人口 0～14歳	6,953	12.0	5,378	9.7	6,487	11.2
生産年齢人口 15～64歳	33,425	57.8	31,636	56.9	32,745	56.7
老年人口 65歳以上	17,487	30.2	18,568	33.4	18,568	32.1
計(総人口)	57,868	100.0	55,582	100.0	57,800	100.0

※2014年(平成26年)は1月1日現在(総務課調べ)。総人口には年齢不詳3人が含まれる。

(資料) 企画課「逗子市総合計画実施計画(2015-2022)」(2015年(平成27年)3月策定)

3. 逗子市人口ビジョンの「将来展望人口」

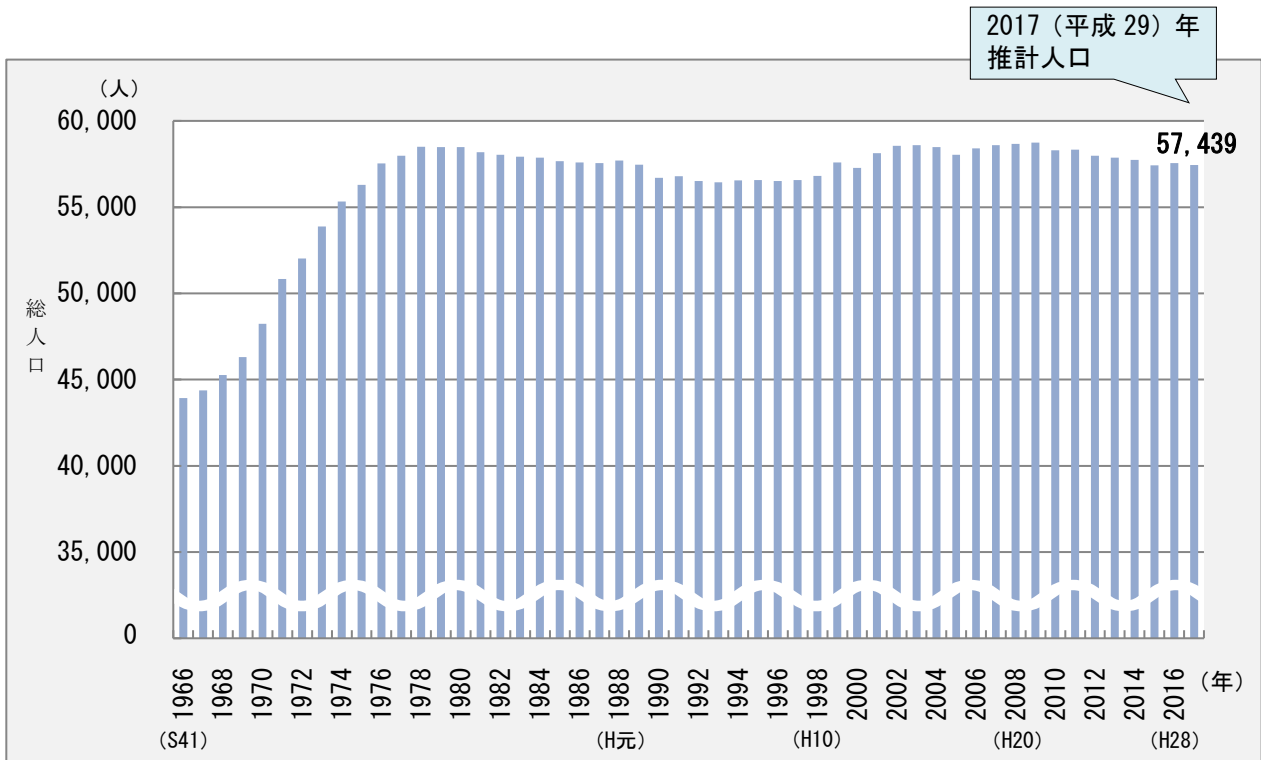
	総人口	年少人口	生産年齢 人口	老年人口
2040年 (平成52年)	51,391人	6,871人 (13.4%)	26,044人 (50.7%)	18,475人 (35.9%)
2060年 (平成72年)	46,731人	7,051人 (15.1%)	24,908人 (53.3%)	14,772人 (31.6%)

(注) ()内は構成比

(資料) 企画課「逗子市人口ビジョン」(2016年(平成28年)3月策定)

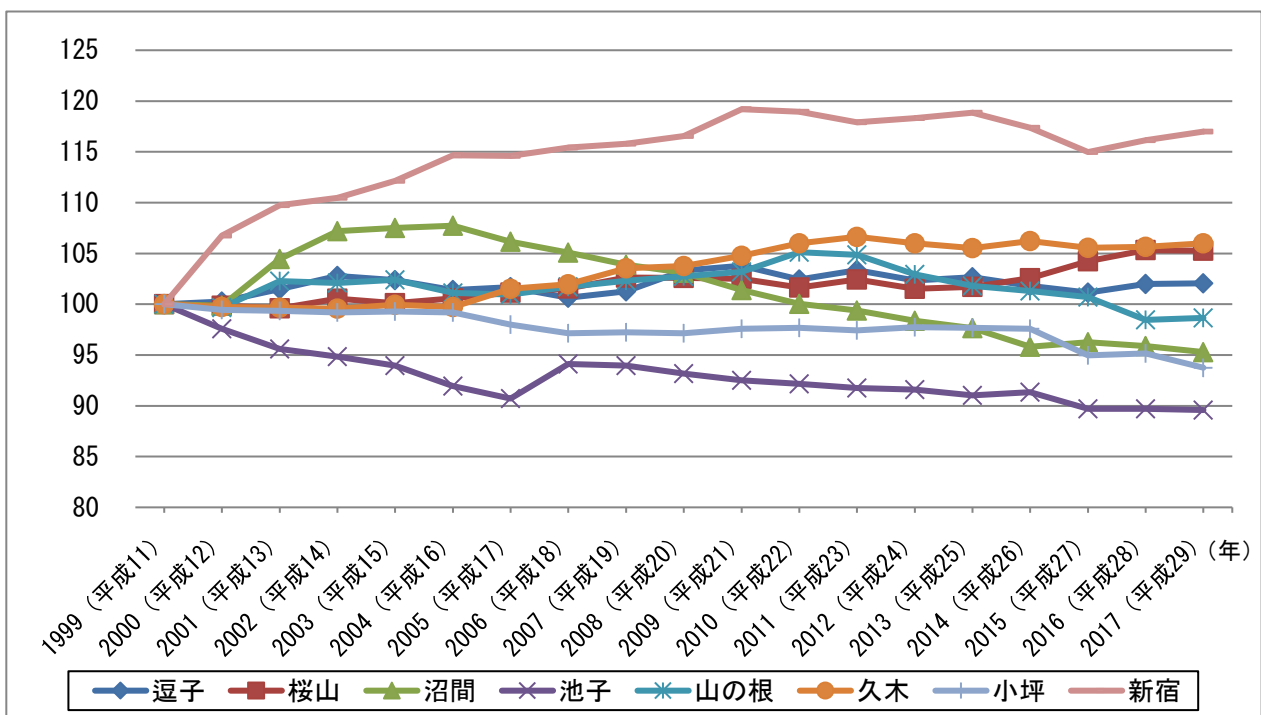
Ⅱ. 人口等の概況

1. 逗子市の人口推移



(資料) 総務課「推計人口 (各年 10 月 1 日現在)」

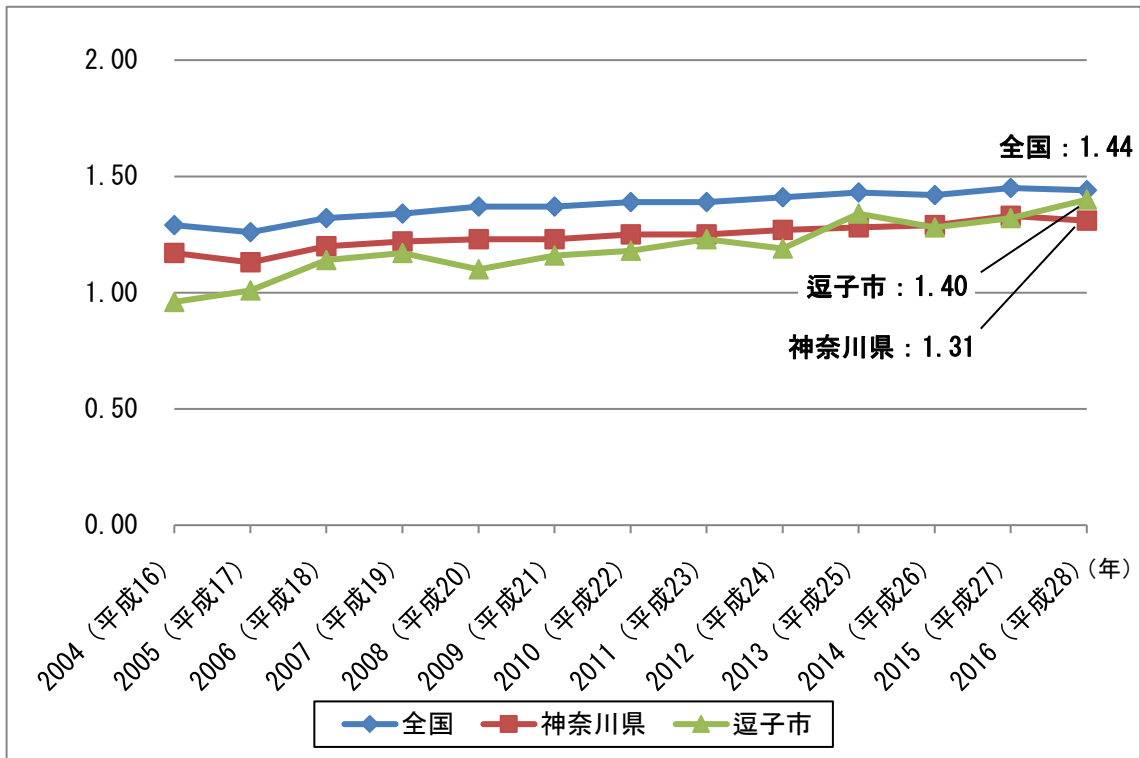
2. 地域別の人口推移



(資料) 総務課「町丁字別推計人口 (各年 10 月 1 日現在)」

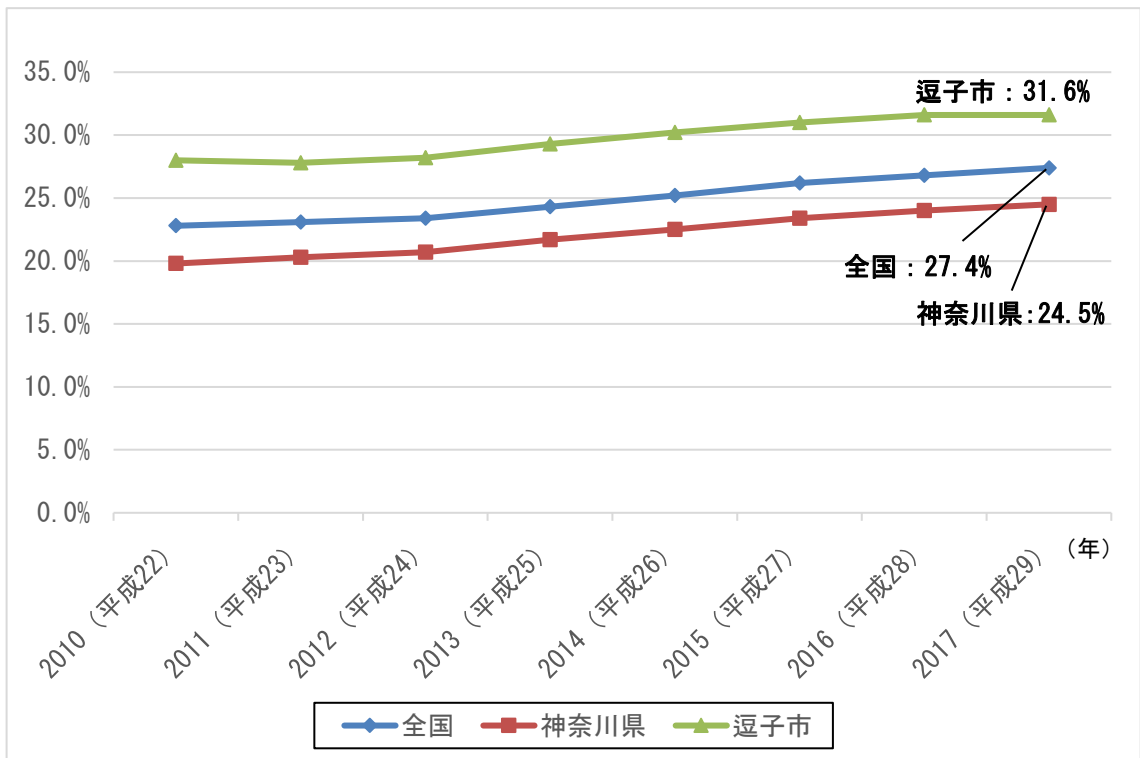
※1999 (平成 11) 年の人口を 100 とした指数による字 (あざ) ごとの地域別人口の推移

3. 合計特殊出生率の推移（全国、神奈川県、逗子市）



(資料) 国の数値は厚生労働省「人口動態統計」、神奈川県及び逗子市の数値は神奈川県「神奈川県衛生統計年報」

4. 高齢化率の推移（全国、神奈川県、逗子市）

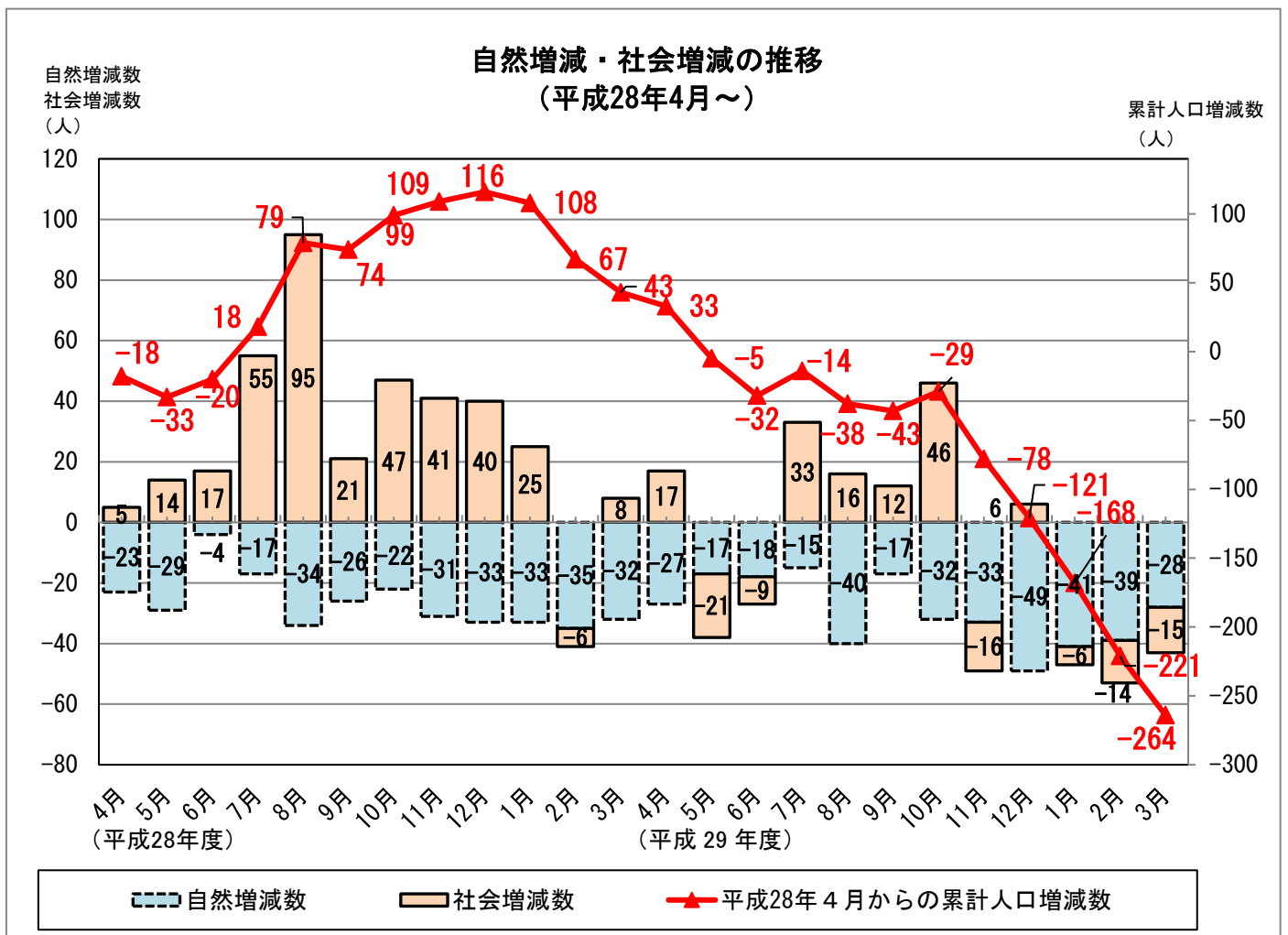


(資料) 神奈川県「神奈川県年齢別人口統計調査（各年1月1日現在）」

5. 自然増減・社会増減の推移

■自然増減・社会増減表(平成28年4月～平成30年3月累計)

区分		男	女	計		
自然増減	1 増加	出生	345	373	718	
	2 減少	死亡	716	677	1,393	
	(1-2) A		-371	-304	-675	
社会増減	3 増加	転入	県外	1,276	1,284	2,560
			県内	1,208	1,302	2,510
		その他		28	21	49
		計		2,512	2,607	5,119
	4 減少	転出	県外	1,116	1,035	2,151
			県内	1,204	1,329	2,533
		その他		13	11	24
		計		2,333	2,375	4,708
(3-4) B		179	232	411		
(A+B) 合計		-192	-72	-264		



Ⅲ. 平成 29 年度社会増減による人口動態の状況

1. 集計の概要

1-1. 集計の目的とデータの留意点

(1) 集計の目的

逗子市人口ビジョン、逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標として「子育て世代を中心とした生産年齢人口層の転入促進、転出抑制」を掲げていることから、転入者・転出者の傾向を把握することを目的としている。

(2) 使用するデータと留意点

- ◆ 本集計を作成するに当たっては、情報政策課において抽出した住民基本台帳の転入者及び転入者のデータを使用する。
- ◆ 使用するデータは、以下5つのデータ
 - ① 転入者及び転出者の年齢
 - ② 転入元住所
 - ③ 転入先市内住所
 - ④ 転出先住所
 - ⑤ 転出元市内住所
- ◆ 抽出期間は、平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
- ◆ 現在のシステムでは、人口動態実数として戸籍住民課が作成している統計値と同じ抽出をすることができない。一つの抽出期間に同一の者が転入と転出を繰り返した場合は最終の移動だけが抽出されるため、戸籍住民課の統計値と以下のようにずれが生じる。(例：4月2日に転入、4月10日に転出している場合、転出にのみ反映される。)

	転入者	転出者
本集計における数 ①	2,398 人	2,351 人
(参考)戸籍住民課統計値 ②	2,426 人	2,377 人
①-②	-28 人	-26 人

1-2. 集計項目と地域別分類

(1) 集計項目

- ① 転入者の人数、年齢別、転入元地域別、転入先地域別の状況
- ② 転出者の人数、年齢別、転出先地域別、転出元地域別の状況
- ③ 社会増減の人数、年齢別、地域別の状況

(2) 地域別分類

- ◆ 地域別の分析は、地域を次のとおり分類して行う。

地 域	分 類
神奈川県内 市町村	市町村単位（例：横須賀市、葉山町、清川村） ただし、政令市については区単位（例：横浜市西区）
東京都内の 市区町村	東京都（例：三鷹市 → 東京都） ただし、特別区については区単位（例：大田区）
神奈川県・東 京都以外の 市町村	道府県単位（例：浦安市 → 千葉県） ただし、政令市については区単位（例：千葉市緑区）
外国	国単位（例：アメリカ合衆国）

1-3. 集計結果の要約

(1) 転入

- 平成 29 年度の転入者数は 2,398 人
- 年齢としては、年齢階級別の構成比率の上位 4 区分である 25 歳から 44 歳までの年齢階級が半数を占めている。10 歳未満も 1 割占める。
- 「横須賀市」「鎌倉市」「横浜市金沢区」「葉山町」といった、本市に接している自治体からの転入が多い。「世田谷区」「大田区」「目黒区」など東京都特別区の神奈川県に近接しているエリアからの転入者が多い点も特徴的。
- 転入が多い地域は、「久木 8 丁目」「逗子 4 丁目」「池子 2 丁目」「沼間 2 丁目」などである。

(2) 転出

- 平成 29 年度の転出者数は 2,351 人
年齢としては、年齢階級別の構成比率の上位 4 区分である 20 歳から 39 歳までの年齢階級が約半数を占めている。
- 「横須賀市」「葉山町」「鎌倉市」「横浜市金沢区」といった、本市に接している地域への転出が多い。また、「アメリカ合衆国」への転出者も多い。
- 転出が多い地域は、「久木 8 丁目」「池子 2 丁目」「小坪 1 丁目」などである。

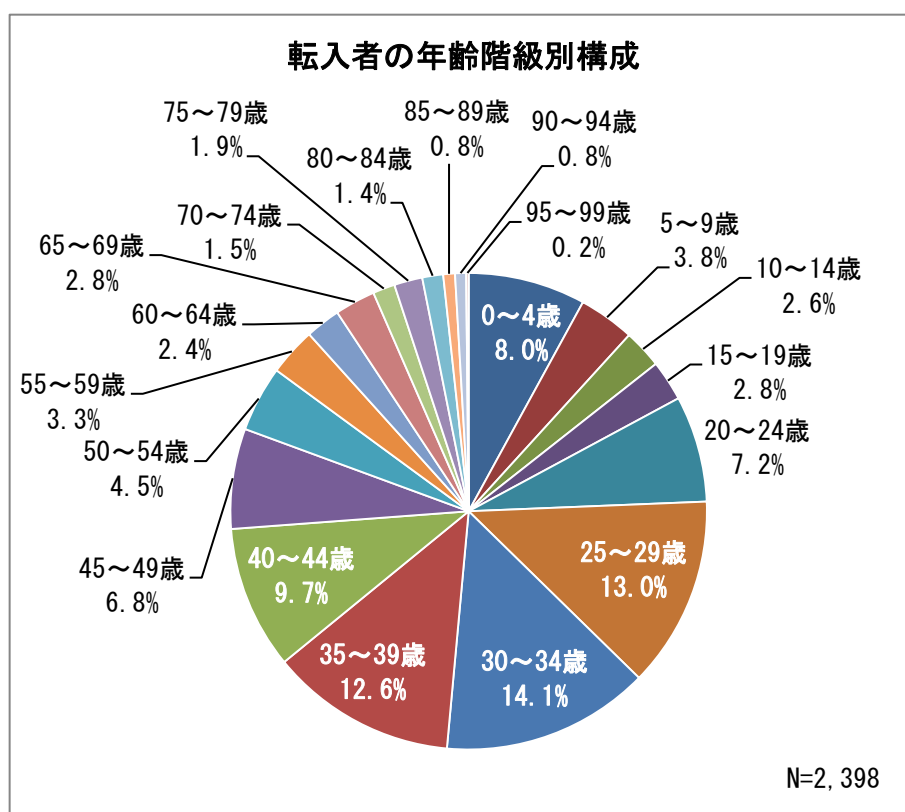
(3) 社会増減

- 本市にとって転入超過となっている地域としては、「世田谷区」「目黒区」「渋谷区」など東京都特別区の神奈川県に近接しているエリアが多くなっている。
- 本市にとって転出超過となっている地域のうち、最も転出者数が多い地域は「葉山町」である。

2. 転入者データの集計

2-1. 年齢の状況 ～ 何歳の方が転入してきたか ～

- ◆ 転入者の年齢をみると、5 歳ごとの年齢階級別の構成比率では「30～34 歳」が 14.1%で最も多く、次に「25～29 歳」が 13%となっている。構成比率の上位 4 区分である 25 歳から 44 歳までの年齢階級を合わせると 49.4%と、全体の約半数を占めており、若い世代の生産年齢人口層が多くなっている。
- ◆ これらの世代に次いで「0～4 歳」が多いのは、前述の若い世代の生産年齢人口層の子ども世代とみられることから、転入者としては、いわゆる若い子育て世代が多い傾向がうかがえる。



転入者の年齢階級別構成比率（上位 5 位）

順位	年齢階級	構成比率
1位	30～34 歳	14.1%
2位	25～29 歳	13.0%
3位	35～39 歳	12.6%
4位	40～44 歳	9.7%
5位	0～4 歳	8.0%

N=2,398

2-2. 転入元地域の状況 ～ どこから転入してきたか ～

- ◆ 転入者の転入前の住所地である転入元地域をみると、本市への転入者が多い地域としては「横須賀市」が 169 人と最も多い。
- ◆ 本市に接している市町村からの転入者は、「鎌倉市」が 148 人、「横浜市金沢区」が 103 人、「葉山町」が 76 人で、横須賀市からの転入者と合わせると、転入者全体の約 2 割を占めている。
- ◆ 「アメリカ合衆国」からの転入者も 95 人と多くなっている。
- ◆ そのほか、「世田谷区」88 人、「大田区」50 人、「目黒区」45 人、「渋谷区」39 人、「杉並区」37 人と、これら東京都特別区の神奈川県に近接しているエリアからの転入者は、転入者全体の約 1 割を占めている。

転入元地域別の転入者数（転入者数が 30 人以上の地域）

順位	地域	人数(人)
1位	横須賀市	169
2位	鎌倉市	148
3位	横浜市金沢区	103
4位	アメリカ合衆国	95
5位	世田谷区	88
6位	葉山町	76
7位	東京都	74
8位	千葉県	58
9位	横浜市戸塚区	52
10位	藤沢市	50
	大田区	50
12位	埼玉県	49
13位	横浜市栄区	48
14位	目黒区	45
15位	渋谷区	39
16位	杉並区	37
17位	横浜市港南区	36
18位	川崎市中原区	31
19位	横浜市中区	30

N=2,398

2-3. 転入元地域別の年齢状況 ～ どこから何歳の人が転入してきたか ～

- ◆ 転入者数が 30 人以上の転入元地域について、本市に接している市町村からの転入者数の割合をみると、他の市町村に比べ幅広い年齢階級から転入していることがうかがえる。
- ◆ 「アメリカ合衆国」からの転入者は、14 歳以下の年齢階級で割合が多くなっている。
- ◆ 年齢階級別の構成比率の上位 4 区分である 25 歳から 44 歳までの割合の合計は、「杉並区」で 74.2%、「目黒区」で 71.1%、「川崎市中原区」で 71.0% となっており、これらの地域からの転入者数の割合が「総計」の 49.5% に比べ多くなっている。

転入元地域別の年齢階級別転入者数（転入者数が 30 人以上の地域）

転入者の多い年齢階級上位 5 階級

※上段：実数

下段：各転入元における各年齢階級の構成比

(小数点以下第 2 位を四捨五入)

転入元	年齢																			合計	
	0～4 歳	5～9 歳	10～14 歳	15～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳	40～44 歳	45～49 歳	50～54 歳	55～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90～94 歳		95～99 歳
横須賀市	9	4	3	4	23	26	21	17	12	10	8	6	7	2	3	3	7	3	1		169
	5.3%	2.4%	1.8%	2.4%	13.6%	15.4%	12.4%	10.1%	7.1%	5.9%	4.7%	3.6%	4.1%	1.2%	1.8%	1.8%	4.1%	1.8%	0.6%		100.0%
鎌倉市	8	5	3	2	9	12	31	14	22	9	11	6	5	5	4	1	1				148
	5.4%	3.4%	2.0%	1.4%	6.1%	8.1%	20.9%	9.5%	14.9%	6.1%	7.4%	4.1%	3.4%	3.4%	2.7%	0.7%	0.7%				100.0%
横浜市金沢区	6	2	4	7	10	17	8	13	11	4	7		1	1	2	3	3		2	2	103
	5.8%	1.9%	3.9%	6.8%	9.7%	16.5%	7.8%	12.6%	10.7%	3.9%	6.8%		1.0%	1.0%	1.9%	2.9%	2.9%		1.9%	1.9%	100.0%
アメリカ合衆国	17	15	15	3		5	5	10	12	9	1	1	1	1							95
	17.9%	15.8%	15.8%	3.2%		5.3%	5.3%	10.5%	12.6%	9.5%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%							100.0%
世田谷区	12	3			1	9	8	23	15	5	5	3		2	1			1			88
	13.6%	3.4%			1.1%	10.2%	9.1%	26.1%	17.0%	5.7%	5.7%	3.4%		2.3%	1.1%			1.1%			100.0%
葉山町	2			9	3	9	5	6	6	8	2	4	2	3	6	5	1	1	3	1	76
	2.6%			11.8%	3.9%	11.8%	6.6%	7.9%	7.9%	10.5%	2.6%	5.3%	2.6%	3.9%	7.9%	6.6%	1.3%	1.3%	3.9%	1.3%	100.0%
東京都	5	1		2	10	12	14	7	6	3	2	4		2	1	1	3		1		74
	6.8%	1.4%		2.7%	13.5%	16.2%	18.9%	9.5%	8.1%	4.1%	2.7%	5.4%		2.7%	1.4%	1.4%	4.1%		1.4%		100.0%
千葉県	3	2	1	2	7	7	10	5	7	3		4	3			1		1	1	1	58
	5.2%	3.4%	1.7%	3.4%	12.1%	12.1%	17.2%	8.6%	12.1%	5.2%		6.9%	5.2%			1.7%		1.7%	1.7%	1.7%	100.0%
横浜市戸塚区	5		2	3	1	10	8	3		5	7		3	1	1	2	1				52
	9.6%		3.8%	5.8%	1.9%	19.2%	15.4%	5.8%		9.6%	13.5%		5.8%	1.9%	1.9%	3.8%	1.9%				100.0%
藤沢市				2	6	7	3	5	5	5	3	1	1	6	2	1	1	1	1	1	50
				4.0%	12.0%	14.0%	6.0%	10.0%	10.0%	10.0%	6.0%	2.0%	2.0%	2.0%	12.0%	4.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	100.0%
大田区	4		2	1	6	6	7	5	6	5	2	1	1	1	1	2					50
	8.0%		4.0%	2.0%	12.0%	12.0%	14.0%	10.0%	12.0%	10.0%	4.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	4.0%					100.0%
埼玉県	4	3		1	7	6	5	12	1	3	1	1		2			1	2			49
	8.2%	6.1%		2.0%	14.3%	12.2%	10.2%	24.5%	2.0%	6.1%	2.0%	2.0%		4.1%			2.0%	4.1%			100.0%
横浜市栄区	3	1	2	1	5	7	3	6	1	7	3	1	1	4	1	1	1				48
	6.3%	2.1%	4.2%	2.1%	10.4%	14.6%	6.3%	12.5%	2.1%	14.6%	6.3%	2.1%	2.1%	8.3%	2.1%	2.1%	2.1%				100.0%
目黒区	5				1	8	11	8	5	2			3			2					45
	11.1%				2.2%	17.8%	24.4%	17.8%	11.1%	4.4%			6.7%			4.4%					100.0%
渋谷区	6	1	1	2		4	3	6	8	1	1	1		1	1		3				39
	15.4%	2.6%	2.6%	5.1%		10.3%	7.7%	15.4%	20.5%	2.6%	2.6%	2.6%		2.6%	2.6%		7.7%				100.0%
杉並区	5	1		1	3	2	7	8	6	1		2		1							37
	16.1%	3.2%		3.2%	9.7%	6.5%	22.6%	25.8%	19.4%	3.2%		6.5%		3.2%							119.4%
横浜市港南区	4	1			4	6	6	4	2	1	2	1	1	1	1			2			36
	12.9%	3.2%			12.9%	19.4%	19.4%	12.9%	6.5%	3.2%	6.5%	3.2%	3.2%	3.2%	3.2%			6.5%			116.1%
川崎市中原区	2	2				7	10	3	2		2	1					2				31
	6.5%	6.5%				22.6%	32.3%	9.7%	6.5%		6.5%	3.2%					6.5%				100.0%
横浜市中区	3				1	3	5	2	6	1	1		3		1	4					30
	10.0%				3.3%	10.0%	16.7%	6.7%	20.0%	3.3%	3.3%		10.0%		3.3%	13.3%					100.0%
総計	191	91	63	66	173	311	339	303	233	163	107	78	57	66	36	46	34	19	18	4	2398
	8.0%	3.8%	2.6%	2.8%	7.2%	13.0%	14.1%	12.6%	9.7%	6.8%	4.5%	3.3%	2.4%	2.8%	1.5%	1.9%	1.4%	0.8%	0.8%	0.2%	100.0%

(凡例)

20.0%～	
15.0～19.9%	
10.0～14.9%	
0～9.9%	

転入元地域別の年齢階級上位 4 階級（25～44 歳）の割合

転入元地域	25 歳から 44 歳までの割合
杉並区	74.2%
目黒区	71.1%
川崎市中原区	71.0%
世田谷	62.5%
横浜市港南区	58.1%
渋谷区	53.8%
鎌倉市	53.4%
横浜市中区	53.3%
東京都	52.7%
千葉県	50.0%
埼玉県	49.0%
大田区	48.0%
横浜市金沢区	47.6%
横須賀市	45.0%
横浜市戸塚区	40.4%
藤沢市	40.0%
横浜市栄区	35.4%
葉山町	34.2%
アメリカ合衆国	33.7%
総計	49.5%

2-4. 転入先地域の状況

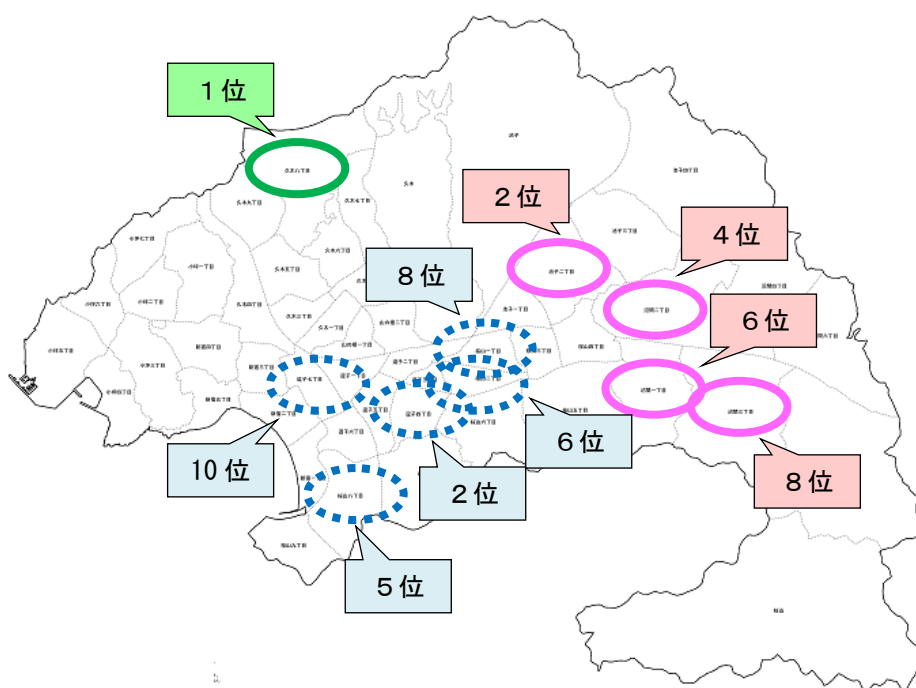
(1) 転入先地域別の転入者数 ～ どの地域(町丁目)に転入してきたか ～

- ◆ 市内の転入先地域について、転入者数の多い地域(町丁目)の上位10位をみると、「久木8丁目」111人で最も多くなっている。
- ◆ 市の中心部や逗子海岸隣接エリアについても、「逗子4丁目」86人、「桜山8丁目」79人、「桜山2丁目」77人、「桜山1丁目」75人「逗子7丁目」73人と転入者が多くなっている。
- ◆ 市の東エリアについても、「池子2丁目」86人、「沼間2丁目」85人、「沼間1丁目」77人、「沼間3丁目」75人となっており、転入者が多い地域となっている。

転入先地域別の転入者数(転入者が多い上位10位)

順位	転入先地域	人数(人)
1位	久木8丁目	111
2位	逗子4丁目	86
	池子2丁目	86
4位	沼間2丁目	85
5位	桜山8丁目	79
6位	桜山2丁目	77
	沼間1丁目	77
8位	沼間3丁目	75
	桜山1丁目	75
10位	逗子7丁目	73

N=2,398



(2) 転入先地域別の転入者の年齢状況 ～ どの地域(字)に何歳の人
が転入してきたか～

- ◆ 市内の転入先地域(字)について、「池子ヒルズ」は、0歳から4歳までの割合が25.9%と多くなっている。
- ◆ 「池子」は、30歳から34歳までの割合が20.4%と多くなっている。
- ◆ 年齢階級別の構成比率の上位4区分である25歳から44歳までの割合の合計は、「逗子」で60.2%となっており、転入者数の割合が「総計」の49.5%に比べ多くなっている。

転入先地域別の年齢階級別転入者数

※上段：実数

下段：各転入先における各年齢階級の構成比
(小数点以下第2位を四捨五入)

転入者の多い年齢階級上位5階級

年齢 転入先	0～4 歳	5～9 歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95～ 99歳	合計
逗子	25	8	6	7	20	52	56	49	38	16	10	10	5	9	2	4	3		3	1	324
	7.7%	2.5%	1.9%	2.2%	6.2%	16.0%	17.3%	15.1%	11.7%	4.9%	3.1%	3.1%	1.5%	2.8%	0.6%	1.2%	0.9%		0.9%	0.3%	100.0%
桜山	39	17	14	18	38	75	75	65	59	31	21	10	13	13	8	7	12	5	6	1	527
	7.4%	3.2%	2.7%	3.4%	7.2%	14.2%	14.2%	12.3%	11.2%	5.9%	4.0%	1.9%	2.5%	2.5%	1.5%	1.3%	2.3%	0.9%	1.1%	0.2%	100.0%
沼間	21	6	4	15	22	42	30	26	25	23	18	8	12	10	3	11	6	5	5	2	294
	7.1%	2.0%	1.4%	5.1%	7.5%	14.3%	10.2%	8.8%	8.5%	7.8%	6.1%	2.7%	4.1%	3.4%	1.0%	3.7%	2.0%	1.7%	1.7%	0.7%	100.0%
池子	10	3	2	2	18	14	34	21	13	17	6	8	4	5	2	1	3	3	1		167
	6.0%	1.8%	1.2%	1.2%	10.8%	8.4%	20.4%	12.6%	7.8%	10.2%	3.6%	4.8%	2.4%	3.0%	1.2%	0.6%	1.8%	1.8%	0.6%		100.0%
山の根	10	5	4	3	7	22	19	17	17	9	6	7	2	5	2	2					137
	7.3%	3.6%	2.9%	2.2%	5.1%	16.1%	13.9%	12.4%	12.4%	6.6%	4.4%	5.1%	1.5%	3.6%	1.5%	1.5%					100.0%
久木	38	19	17	10	28	58	61	49	33	25	9	7	6	5	10	5	2	2			391
	9.7%	4.9%	4.3%	2.6%	7.2%	14.8%	15.6%	12.5%	8.4%	6.4%	2.3%	1.8%	1.8%	1.5%	1.3%	2.6%	1.3%	0.5%	0.5%		100.0%
小坪	17	9	4	8	27	24	26	34	21	27	24	17	9	16	11	10	5	4	1		294
	5.8%	3.1%	1.4%	2.7%	9.2%	8.2%	8.8%	11.6%	7.1%	9.2%	8.2%	5.8%	3.1%	5.4%	3.7%	3.4%	1.7%	1.4%	0.3%		100.0%
新宿	17	16	6	3	11	18	35	36	22	12	12	11	5	2	3	1					210
	8.1%	7.6%	2.9%	1.4%	5.2%	8.6%	16.7%	17.1%	10.5%	5.7%	5.7%	5.2%	2.4%	1.0%	1.4%	0.5%					100.0%
池子ヒルズ	14	8	6		2	6	3	6	5	3	1										54
	25.9%	14.8%	11.1%		3.7%	11.1%	5.6%	11.1%	9.3%	5.6%	1.9%										100.0%
総計	191	91	63	66	173	311	339	303	233	163	107	78	57	66	36	46	34	19	18	4	2398
	8.0%	3.8%	2.6%	2.8%	7.2%	13.0%	14.1%	12.6%	9.7%	6.8%	4.5%	3.3%	2.4%	2.8%	1.5%	1.9%	1.4%	0.8%	0.8%	0.2%	100.0%

(凡例)

20.0%～	
15.0～19.9%	
10.0～14.9%	
0～9.9%	

注)「池子ヒルズ」は池子住宅地区及び海軍補助施設のエリア

転入先地域別の年齢階級上位 4 階級（25～44 歳）の割合

転入先地域	25 歳から 44 歳までの割合
逗子	60.2%
山の根	54.7%
新宿	52.9%
桜山	52.0%
久木	51.4%
池子	49.1%
沼間	41.8%
池子ヒルズ	37.0%
小坪	35.7%
総 計	49.5%

(3) 転入元地域別の転入先地域の状況 ～ どこからどの地域(字)に転入してきたか ～

- ◆ 転入元地域(転入者数上位 10 位)別に市内の転入先地域(字)の状況をみると、最も転入者の多い横須賀市からの転入先地域としては「桜山」が 31.4%で最も多く、次に「沼間」が 23.7%が続いている。
- ◆ 転入者の転入先地域としては、全体的に「桜山」の割合が多くなっているが、特に大田区からの転入者で 42%、葉山町からの転入者で 38.2%と多くなっている。

転入先地域別の転入元地域別転入者数
(転入者が多い上位 10 地域)

※上段：実数

下段：各転入元における各転入先の構成比
(小数点以下第 2 位を四捨五入)

転入先 転入元	逗子	桜山	沼間	池子	山の根	久木	小坪	新宿	池子ヒルズ	総計
横須賀市	18 10.7%	53 31.4%	40 23.7%	14 8.3%	11 6.5%	18 10.7%	7 4.1%	7 4.1%	1 0.6%	169 100.0%
鎌倉市	21 14.2%	26 17.6%	12 8.1%	7 4.7%	7 4.7%	24 16.2%	35 23.6%	16 10.8%		148 100.0%
横浜市金沢区	12 11.7%	20 19.4%	19 18.4%	11 10.7%	3 2.9%	15 14.6%	18 17.5%	4 3.9%	1 1.0%	103 100.0%
アメリカ合衆国	4 4.2%	22 23.2%		3 3.2%	5 5.3%	15 15.8%	8 8.4%	10 10.5%	28 29.5%	95 100.0%
世田谷区	22 25.0%	16 18.2%	1 1.1%	6 6.8%	10 11.4%	13 14.8%	11 12.5%	9 10.2%		88 100.0%
葉山町	16 21.1%	29 38.2%	6 7.9%	2 2.6%	3 3.9%	8 10.5%	6 7.9%	6 7.9%		76 100.0%
東京都	11 14.9%	13 17.6%	9 12.2%	11 14.9%	4 5.4%	4 5.4%	13 17.6%	8 10.8%	1 1.4%	74 100.0%
千葉県	16 27.6%	5 8.6%	13 22.4%	4 6.9%	2 3.4%	13 22.4%	4 6.9%	1 1.7%		58 100.0%
横浜市戸塚区	2 3.8%	15 28.8%	9 17.3%	1 1.9%		8 15.4%	8 15.4%	5 9.6%	4 7.7%	52 100.0%
藤沢市	3 6.0%	14 28.0%	7 14.0%	2 4.0%	5 10.0%	2 4.0%	10 20.0%	7 14.0%		50 100.0%
大田区	3 6.0%	21 42.0%	3 6.0%	3 6.0%	1 2.0%	10 20.0%	6 12.0%	3 6.0%		50 100.0%
総計	324 13.5%	527 22.0%	294 12.3%	167 7.0%	137 5.7%	391 16.3%	294 12.3%	210 8.8%	54 2.3%	2,398 100.0%

(凡例)

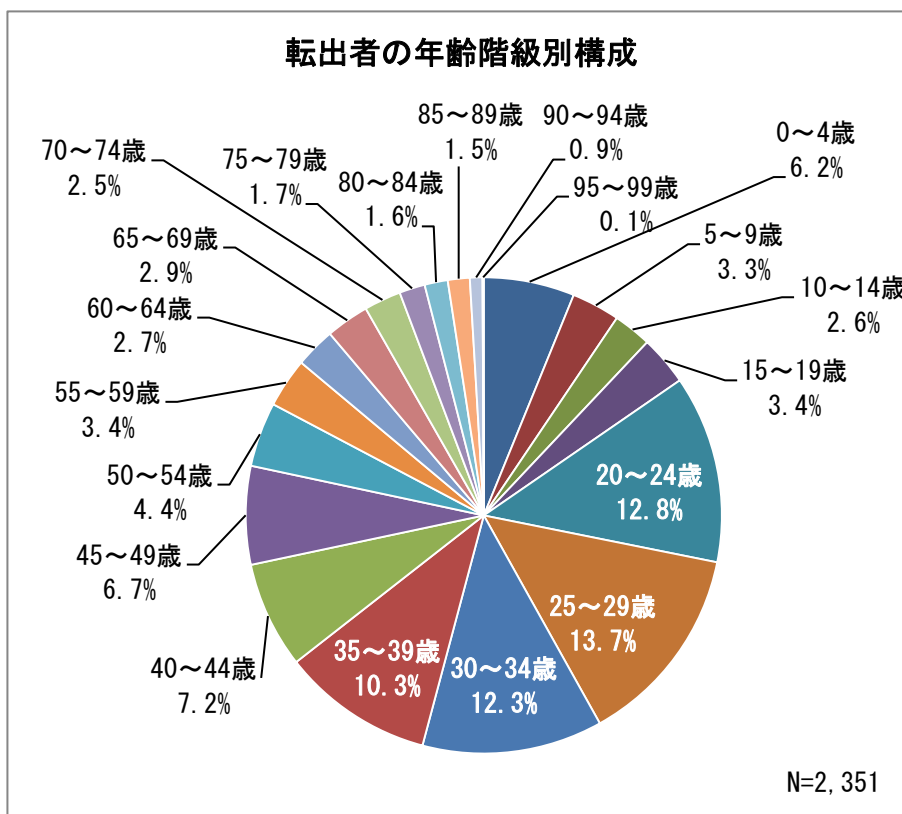
25.0%～	
20.0～24.9%	
15.0～19.9%	
0～14.9%	

注)「池子」は池子住宅地区及び海軍補助施設のエリア

3. 転出者データの集計

3-1. 年齢の状況 ～ 何歳の人転出したか ～

- ◆ 転出者の年齢をみると、5歳ごとの年齢階級別の構成比率では「25～29歳」が13.7%で最も多く、次に「20～24歳」が12.8%、「30～34歳」が12.3%、「35～39歳」が10.3%と続き、20歳から39歳までの若い世代の生産年齢人口層が全体の約半数を占めている。



転出者の年齢階級別構成比率（上位5位）

順位	年齢階級	構成比率
1位	25～29歳	13.7%
2位	20～24歳	12.8%
3位	30～34歳	12.3%
4位	35～39歳	10.3%
5位	40～44歳	7.2%

N=2,351

3-2. 転出先地域の状況 ～ どこへ転出したか ～

- ◆ 転出者の転出後の住所地である転出先地域をみると、本市からの転出者数が多い地域としては「横須賀市」が 158 人で最も多く、次に「葉山町」が 149 人、「鎌倉市」が 136 人、横浜市金沢区が 89 人と本市に接している市町村への転出者が転出者全体の 2 割以上を占めている。
- ◆ 「アメリカ合衆国」への転出が全体で 5 番目と多くなっている。

転出先地域別の転出者数（転出者数が 30 人以上の地域）

順位	地域	人数(人)
1位	横須賀市	158
2位	葉山町	149
3位	鎌倉市	136
4位	横浜市金沢区	89
5位	アメリカ合衆国	81
6位	藤沢市	74
7位	東京都	62
8位	横浜市戸塚区	56
9位	千葉県	49
10位	茅ヶ崎市	47
11位	横浜市港南区	46
	世田谷区	
13位	埼玉県	37
14位	大田区	35
15位	横浜市神奈川区	33
	横浜市西区	
17位	横浜市栄区	31

N=2,351

3-3. 転出先地域別の年齢状況 ～ どこへ何歳の人が転出したか ～

- ◆ 転出者数が 30 人以上の転出先地域について、本市に接している市町村への転出者数の割合をみると、他の市町村に比べ幅広い年齢階級から転出していることがうかがえる。
- ◆ 「千葉県」への転出者は、20 歳から 24 歳の年齢階級で 32.7%と割合が多くなっている。
- ◆ 「アメリカ合衆国」への転出者は、14 歳以下の年齢階級で割合が多くなっている。
- ◆ 年齢階級別の構成比率の上位 5 区分である 20 歳から 44 歳までの割合の合計は、「世田谷区」で 65.2%、「東京都」で 61.3%となっており、転出者数の割合が「総計」の 56.3%に比べ多くなっている。

転出先地域別の年齢階級別転出者数（転出者数が 30 人以上の地域）

※上段：実数

下段：各転出先における各年齢階級の構成比
(小数点以下第 2 位を四捨五入)

転出者の多い年齢階級上位 5 階級



転出先	0～4 歳	5～9 歳	10～14 歳	15～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳	40～44 歳	45～49 歳	50～54 歳	55～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90～94 歳	95～99 歳	合計
横須賀市	13	1	4	7	13	21	23	17	8	9	6	10	5	8	5	2	1	4	1		158
	8.2%	0.6%	2.5%	4.4%	8.2%	13.3%	14.6%	10.8%	5.1%	5.7%	3.8%	6.3%	3.2%	5.1%	3.2%	1.3%	0.6%	2.5%	0.6%		100.0%
葉山町	22	10	6	3	3	7	21	25	13	8	4	4	7	7	2		1	1	3	2	149
	14.8%	6.7%	4.0%	2.0%	2.0%	4.7%	14.1%	16.8%	8.7%	5.4%	2.7%	2.7%	4.7%	4.7%	1.3%		0.7%	0.7%	2.0%	1.3%	100.0%
鎌倉市	8	6	1	3	7	19	11	22	15	7	9	4	4	4	4	6	1	2	3		136
	5.9%	4.4%	0.7%	2.2%	5.1%	14.0%	8.1%	16.2%	11.0%	5.1%	6.6%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%	4.4%	0.7%	1.5%	2.2%		100.0%
横浜市金沢区	2	2	5	4	13	16	9	10	4	2	6	3	1	4	2	4			2		89
	2.2%	2.2%	5.6%	4.5%	14.6%	18.0%	10.1%	11.2%	4.5%	2.2%	6.7%	3.4%	1.1%	4.5%	2.2%	4.5%			2.2%		100.0%
アメリカ合衆国	9	15	9	4	2	4	8	12	6	3	3	1	2	2	1						81
	11.1%	18.5%	11.1%	4.9%	2.5%	4.9%	9.9%	14.8%	7.4%	3.7%	3.7%	1.2%	2.5%	2.5%	1.2%						100.0%
藤沢市	4			2	11	9	12	5	4	4	2	4	1	3	3	1	3	3	3		74
	5.4%			2.7%	14.9%	12.2%	16.2%	6.8%	5.4%	5.4%	2.7%	5.4%	1.4%	4.1%	4.1%	1.4%	4.1%	4.1%	4.1%		100.0%
東京都	4	2			9	11	5	7	6	2	1	1	3	4	1	2	1	1	2		62
	6.5%	3.2%			14.5%	17.7%	8.1%	11.3%	9.7%	3.2%	1.6%	1.6%	4.8%	6.5%	1.6%	3.2%	1.6%	1.6%	3.2%		100.0%
横浜市戸塚区	3	3	1	2	9	8	8	5	3	2	3	1		2	3	1	2				56
	5.4%	5.4%	1.8%	3.6%	16.1%	14.3%	14.3%	8.9%	5.4%	3.6%	5.4%	1.8%		3.6%	5.4%	1.8%	3.6%				100.0%
千葉県	4	2	1	3	16	6	3	2	2	4	1	2	1					2			49
	8.2%	4.1%	2.0%	6.1%	32.7%	12.2%	6.1%	4.1%	4.1%	8.2%	2.0%	4.1%	2.0%					4.1%			100.0%
茅ヶ崎市	4			2	5	4	5	4	4	1	5	1	2	1	1	2	2	3	1		47
	8.5%			4.3%	10.6%	8.5%	10.6%	8.5%	8.5%	2.1%	10.6%	2.1%	4.3%	2.1%	2.1%	4.3%	4.3%	6.4%	2.1%		100.0%
横浜市港南区	1	3		3	4	11	1	6	6	5	1	1	1			1	1	1			46
	2.2%	6.5%		6.5%	8.7%	23.9%	2.2%	13.0%	13.0%	10.9%	2.2%	2.2%	2.2%			2.2%	2.2%	2.2%			100.0%
世田谷区	1		2	1	8	9	8	4	1	3	2		1	1	2		1	2			46
	2.2%		4.3%	2.2%	17.4%	19.6%	17.4%	8.7%	2.2%	6.5%	4.3%		2.2%	2.2%	4.3%		2.2%	4.3%			100.0%
埼玉県	1			4	6	4	8	3		1	2	1	2	1			3		1		37
	2.7%			10.8%	16.2%	10.8%	21.6%	8.1%		2.7%	5.4%	2.7%	5.4%	2.7%			8.1%		2.7%		100.0%
大田区			3	4	6	5	5	1	4	4	2					1					35
			8.6%	11.4%	17.1%	14.3%	14.3%	2.9%	11.4%	11.4%	5.7%					2.9%					100.0%
横浜市西区	2		2	1	2	7	4	4	7	3	1										33
	6.1%		6.1%	3.0%	6.1%	21.2%	12.1%	12.1%	21.2%	9.1%	3.0%										100.0%
横浜市神奈川区	2		2		2	7	2	3	2	6	2	3	1				1				33
	6.1%		6.1%		6.1%	21.2%	6.1%	9.1%	6.1%	18.2%	6.1%	9.1%	3.0%				3.0%				100.0%
横浜市栄区			1	1	3	6	2	4	1	5	1	4		1	1		1				31
			3.2%	3.2%	9.7%	19.4%	6.5%	12.9%	3.2%	16.1%	3.2%	12.9%		3.2%	3.2%		3.2%				100.0%
総計	145	77	61	79	300	323	288	242	170	157	103	79	64	69	59	41	37	35	20	2	2351
	6.2%	3.3%	2.6%	3.4%	12.8%	13.7%	12.3%	10.3%	7.2%	6.7%	4.4%	3.4%	2.7%	2.9%	2.5%	1.7%	1.6%	1.5%	0.9%	0.1%	100.0%

(凡例)

20.0%～	
15.0～19.9%	
10.0～14.9%	
0～9.9%	

転出先地域別の年齢階級上位 5 階級（20～44 歳）の割合

転出先地域	20 歳から 44 歳までの割合
世田谷区	65.2%
東京都	61.3%
横浜市港南区	60.9%
横浜市西区	60.6%
大田区	60.0%
千葉県	59.2%
横浜市戸塚区	58.9%
横浜市金沢区	58.4%
埼玉県	56.8%
藤沢市	55.4%
鎌倉市	54.4%
横須賀市	51.9%
横浜市栄区	51.6%
横浜市神奈川区	48.5%
茅ヶ崎市	46.8%
葉山町	46.3%
アメリカ合衆国	39.5%
総計	56.3%

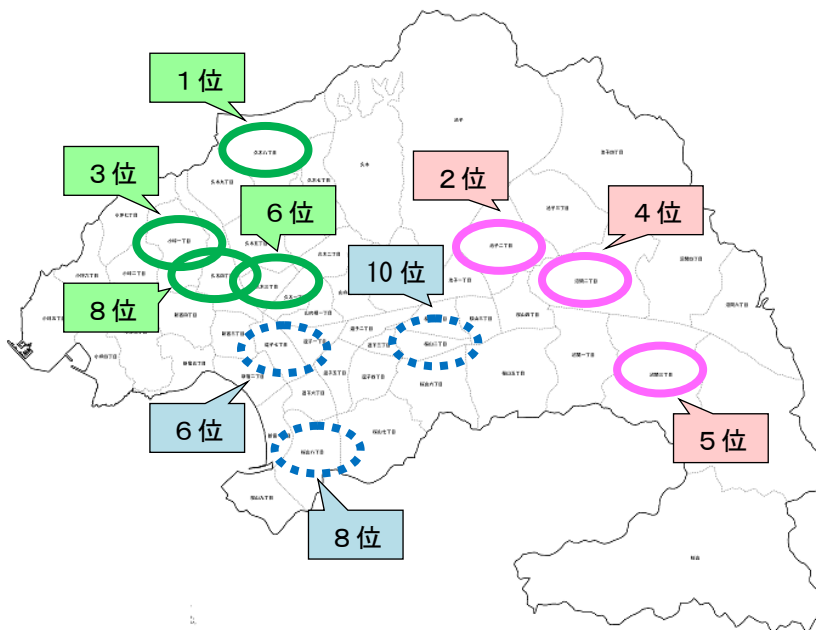
3-4. 転出元地域の状況 ～ どの地域（町丁目）から転出したか ～

- ◆ 転出前の住所地である市内の転出元地域別に、転出者数の多い地域（町丁目）の上位 10 位をみると、「久木 8 丁目」が 107 人で最も多くなっている。「小坪 1 丁目」99 人、「久木 3 丁目」74 人、「久木 4 丁目」71 人と、市の北西エリアからの転出者が多くなっている。
- ◆ 市の東エリアについても、「池子 2 丁目」102 人、「沼間 2 丁目」89 人、「沼間 3 丁目」86 人と転出者が多くなっている。
- ◆ 市の中心部や逗子海岸隣接エリアについても、「逗子 7 丁目」74 人、「桜山 8 丁目」71 人、「桜山 2 丁目」70 人となっており、転出者の多い地域となっている。

転出元地域別の転出者数（転出者数が多い上位 10 地域）

順位	転出元地域	人数（人）
1 位	久木 8 丁目	107
2 位	池子 2 丁目	102
3 位	小坪 1 丁目	99
4 位	沼間 2 丁目	89
5 位	沼間 3 丁目	86
6 位	逗子 7 丁目	74
	久木 3 丁目	74
8 位	久木 4 丁目	71
	桜山 8 丁目	71
10 位	桜山 2 丁目	70

N=2,351



4. 社会増減の状況

4-1. 社会増減数

- ◆ 転入者数と転出者数の比較による社会増減の状況をみると、転入者と転出者の差は47人となっていて、転入者が転出者を上回る「社会増」の状態となっている。

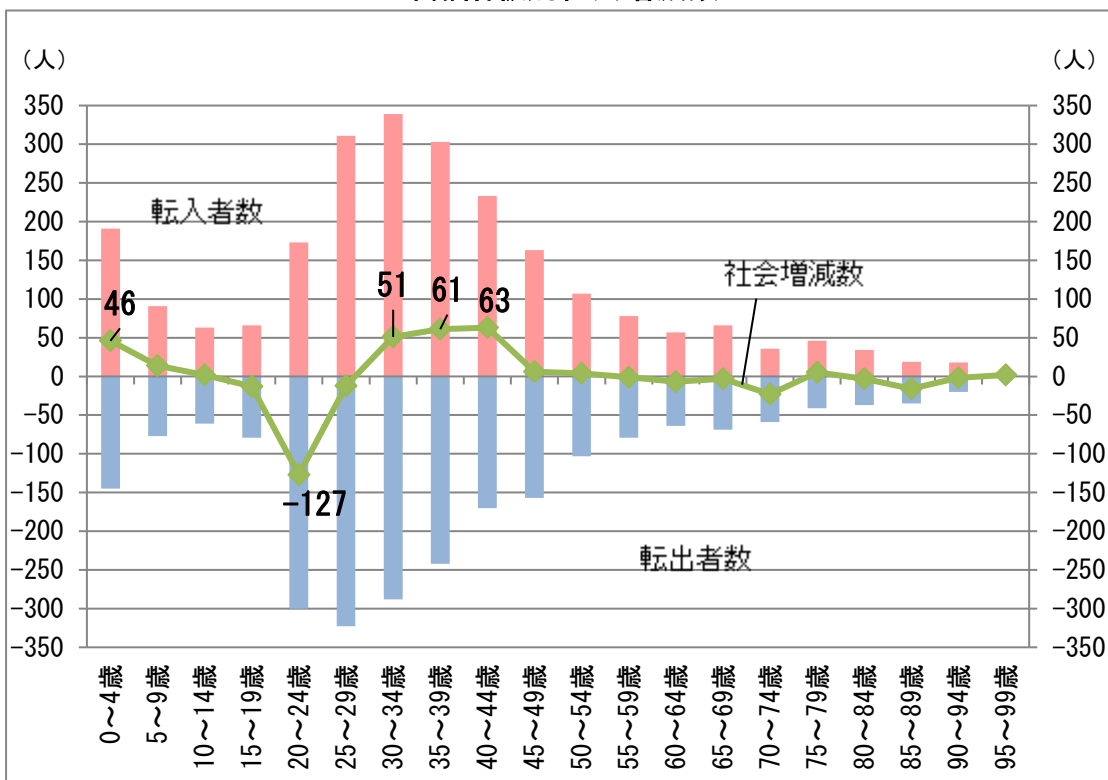
社会増減数

社会増減数(人) (転入者－転出者)	転入者 (人)	転出者 (人)
47	2,398	2,351

4-2. 社会増減の年齢状況

- ◆ 5歳ごとの年齢階級別に社会増減の状況をみると、転入者が転出者を上回る「社会増」となっている年齢階級としては、「40～44歳」の63人が最も多く、次に「35～39歳」の61人、「30～34歳」の51人、「0～4歳」の46人と続いている。これは、転入者数の項で述べたとおり、乳幼児のいる若い子育て世代の転入者が多いためと考えられる。
- ◆ 一方、転出者数が転入者数を上回る「社会減」となっている年齢階級としては、「20～24歳」(-127人)で多くなっていて、これは進学や就職に起因するものと考えられる。

年齢階級別社会増減数



Ⅲ. 平成 29 年度社会増減による人口動態の状況

年齢階級別社会増減数

年齢階級	社会増減数	転入者 (人)	転出者 (人)
	(転入者－転出者)		
0～4 歳	46	191	145
5～9 歳	14	91	77
10～14 歳	2	63	61
15～19 歳	-13	66	79
20～24 歳	-127	173	300
25～29 歳	-12	311	323
30～34 歳	51	339	288
35～39 歳	61	303	242
40～44 歳	63	233	170
45～49 歳	6	163	157
50～54 歳	4	107	103
55～59 歳	-1	78	79
60～64 歳	-7	57	64
65～69 歳	-3	66	69
70～74 歳	-23	36	59
75～79 歳	5	46	41
80～84 歳	-3	34	37
85～89 歳	-16	19	35
90～94 歳	-2	18	20
95～99 歳	2	4	2
合計	47	2,398	2,351

4-3. 社会増減の地域別状況

- ◆ 社会増が 10 人以上の地域をみると、「世田谷区」、「目黒区」、「渋谷区」、「大田区」など東京都特別区の神奈川県に近接しているエリアが多い傾向がみられる。
- ◆ 社会減が 10 人以上の地域については、「葉山町」が 73 人と最も多く、それに次いで「藤沢市」24 人、「茅ヶ崎市」20 人となっている。

社会増が 10 人以上の地域

地 域	社会増減数（人） （転入者－転出者）	転入者数 （人）	転出者数 （人）
世田谷区	42	88	46
目黒区	32	45	13
渋谷区	24	39	15
横浜市栄区	17	48	31
大田区	15	50	35
アメリカ合衆国	14	95	81
横浜市金沢区	14	103	89
中野区	13	14	1
鎌倉市	12	148	136
埼玉県	12	49	37
東京都	12	74	62
兵庫県	12	24	12
練馬区	12	26	14
横須賀市	11	169	158
杉並区	11	37	26
川崎市川崎区	10	21	11

社会減が 10 人以上の地域

地 域	社会増減数（人） （転入者－転出者）	転入者数 （人）	転出者数 （人）
葉山町	-73	76	149
藤沢市	-24	50	74
茅ヶ崎市	-20	27	47
横浜市泉区	-17	4	21
横浜市西区	-14	19	33
広島県	-12	2	14

4-4. 社会増減の市内の地域別状況

- ◆ 社会増が 10 人以上の市内地域をみると、転入者の多いエリアである「沼間 1 丁目」「逗子 4 丁目」「桜山 1 丁目」が上位を占めている。
- ◆ 社会減が 10 人以上の市内地域については、転出者の多いエリアである「小坪 1 丁目」が 32 人と最も多くなっている。

社会増が 10 人以上の市内地域

地 域	社会増減数（人） （転入者－転出者）	転入者数 （人）	転出者数 （人）
沼間 1 丁目	28	77	49
逗子 4 丁目	23	86	63
新宿 2 丁目	22	49	27
桜山 1 丁目	19	75	56
桜山 7 丁目	17	70	53
桜山 5 丁目	16	65	49
新宿 4 丁目	14	51	37
山の根 2 丁目	12	35	23
小坪 3 丁目	12	37	25
新宿 5 丁目	11	13	2

社会減が 10 人以上の市内地域

地 域	社会増減数（人） （転入者－転出者）	転入者数 （人）	転出者数 （人）
小坪 1 丁目	-32	67	99
池子 3 丁目	-19	49	68
久木 5 丁目	-17	36	53
池子 2 丁目	-16	86	102
小坪 2 丁目	-14	39	53
小坪 6 丁目	-13	30	43
小坪 4 丁目	-11	22	33
沼間 3 丁目	-11	75	86
逗子 2 丁目	-11	27	38
桜山 3 丁目	-10	26	36

IV. 平成 29 年度転入者・転出者アンケート集計結果

1. アンケート概要

1-1. アンケートの目的

まち・ひと・しごと創生の取組みを進めるため、転入転出の実態や意識等を把握する。

1-2. アンケートの項目

※詳細は、「4. 調査票」を参照。

(1) 転入者アンケート

- ・ 転入の事情、きっかけ
- ・ 逗子市を転入先として選んだ理由
- ・ 以前に逗子市に住んだ経験の有無
- ・ 逗子市にずっと住みたいと思うか

(2) 転出者アンケート

- ・ 転出の事情、きっかけ
- ・ 逗子市に住んでいて良かったと感じた事柄
- ・ 逗子市に住んでいて不便または不満に感じた事柄
- ・ 事情が許すのであれば、逗子市に戻りたいかどうか

1-3. アンケートの設計

項目	内容
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 転入者及び転出者を対象とする。 ・ 窓口に行き訪れた人のうち、1名が代表として記入することとし、世帯主であるか等は問わない。 ・ 代理人による手続きの場合は、対象外とする。
実施場所	戸籍住民課窓口（1階ロビー）
回答方法	自書式書面アンケート
調査方法	戸籍住民課窓口配付ー1階ロビー回収ボックスに投入
調査期間	平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

1-4. 回収結果

(1) 転入者アンケート

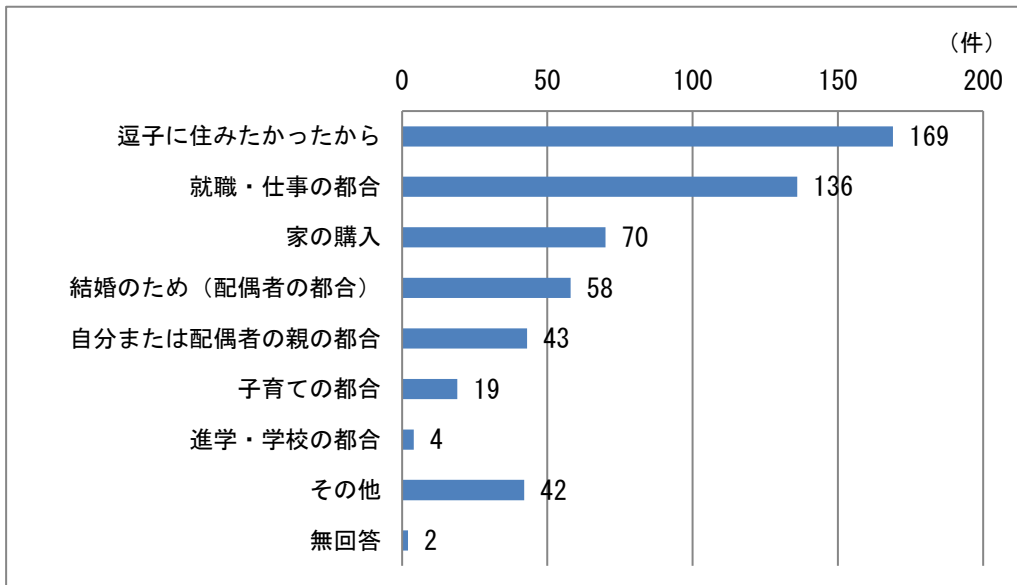
453件（全転入世帯1,240件に対する回収率：36.5%）

(2) 転出者アンケート

403件（全転出世帯925件に対する回収率：43.6%）

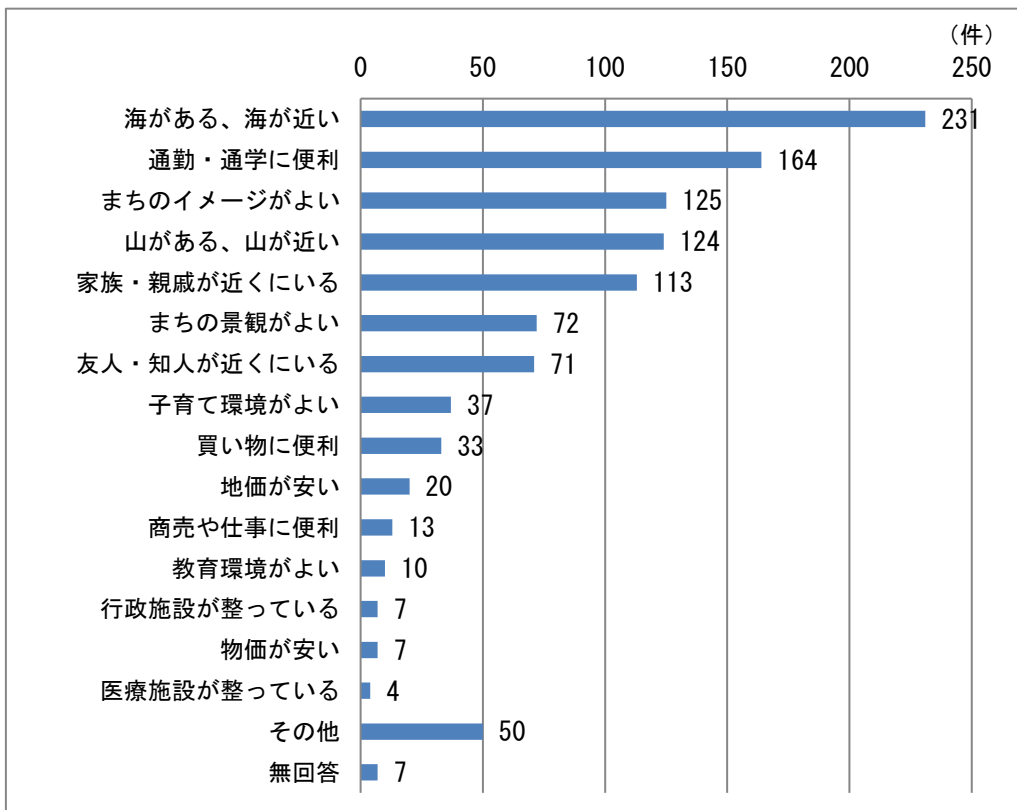
2. 市内転入者アンケート集計結果

2-1. 転入の事情、きっかけ（複数回答）



2-2. 逗子市を転入先として選んだ理由（複数回答）

(1) 全体



IV. 平成 29 年度転入者・転出者アンケート集計結果

(2) 年齢別

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答	合計
海がある、海が近い	5	56	89	41	22	13	3	1	1	231
通勤・通学に便利	5	54	58	31	10	4			2	164
まちのイメージがよい	3	36	44	24	11	3	2	1	1	125
山がある、山が近い	3	24	59	19	8	7	2	2		124
家族・親戚が近くにいる	4	27	34	21	10	9	6	2		113
まちの景観がよい	1	16	29	14	6	3	2	1		72
友人・知人が近くにいる	2	16	24	13	7	4	4	1		71
子育て環境がよい	3	7	19	5	1	1	1			37
買い物に便利		8	13	4	2	3	1	1	1	33
地価が安い	1	3	7	3	3	2	1			20
商売や仕事に便利		2	3	5	3					13
教育環境がよい	1	3	2	2	1	1				10
行政施設が整っている	1	2	3				1			7
物価が安い		1	4	1		1				7
医療施設が整っている	1			1			2			4
その他	2	5	19	9	8	4	2	1		50
無回答		1	3	1		1			1	7

(凡例)

80～	
50～79	
25～49	
0～24	

(3) 地域別

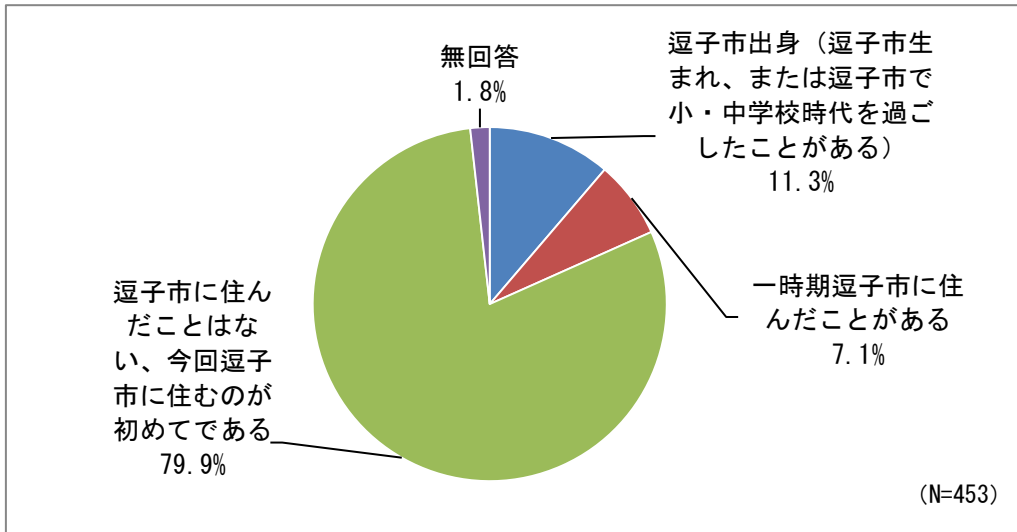
	逗子	桜山	沼間	池子	山の根	久木	小坪	新宿	無回答	合計
海がある、海が近い	39	56	14	14	17	40	26	24	1	231
通勤・通学に便利	31	46	16	12	9	27	10	12	1	164
まちのイメージがよい	16	27	13	4	11	26	14	13	1	125
山がある、山が近い	17	24	14	10	9	22	11	16	1	124
家族・親戚が近くにいる	21	26	12	7	5	23	10	9		113
まちの景観がよい	6	16	8	5	3	16	7	10	1	72
友人・知人が近くにいる	10	12	8	3	6	13	9	10		71
子育て環境がよい	6	10	4	2	1	8	2	4		37
買い物に便利	9	4	5	1		10	1	3		33
地価が安い		3	1	3	3	2	5	3		20
商売や仕事に便利	1	2	1	1	2	1	1	4		13
教育環境がよい	1	3	1		1	1	2	1		10
行政施設が整っている	2	3				1		1		7
物価が安い	3	1			2			1		7
医療施設が整っている		1		1		1		1		4
その他	8	8	7	4	3	7	8	4	1	50
無回答	1	2	1			1		1	1	7

(凡例)

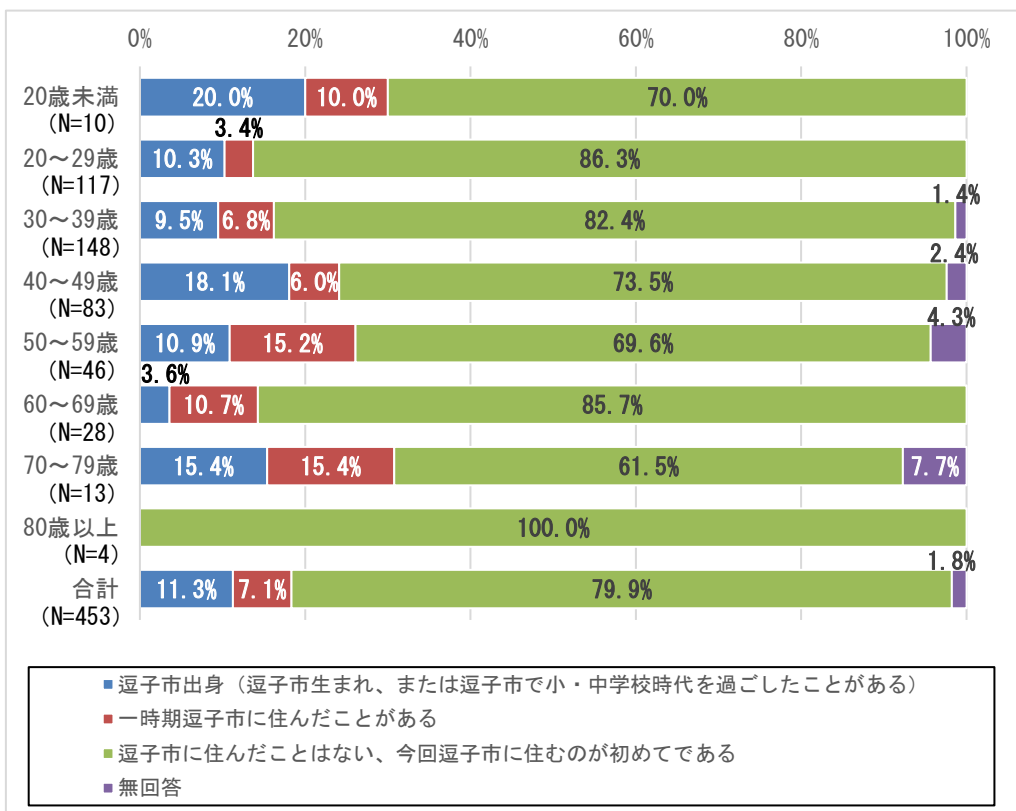
45～	
30～44	
15～29	
0～14	

2-3. 以前に逗子市に住んだ経験の有無（複数回答）

(1) 全体

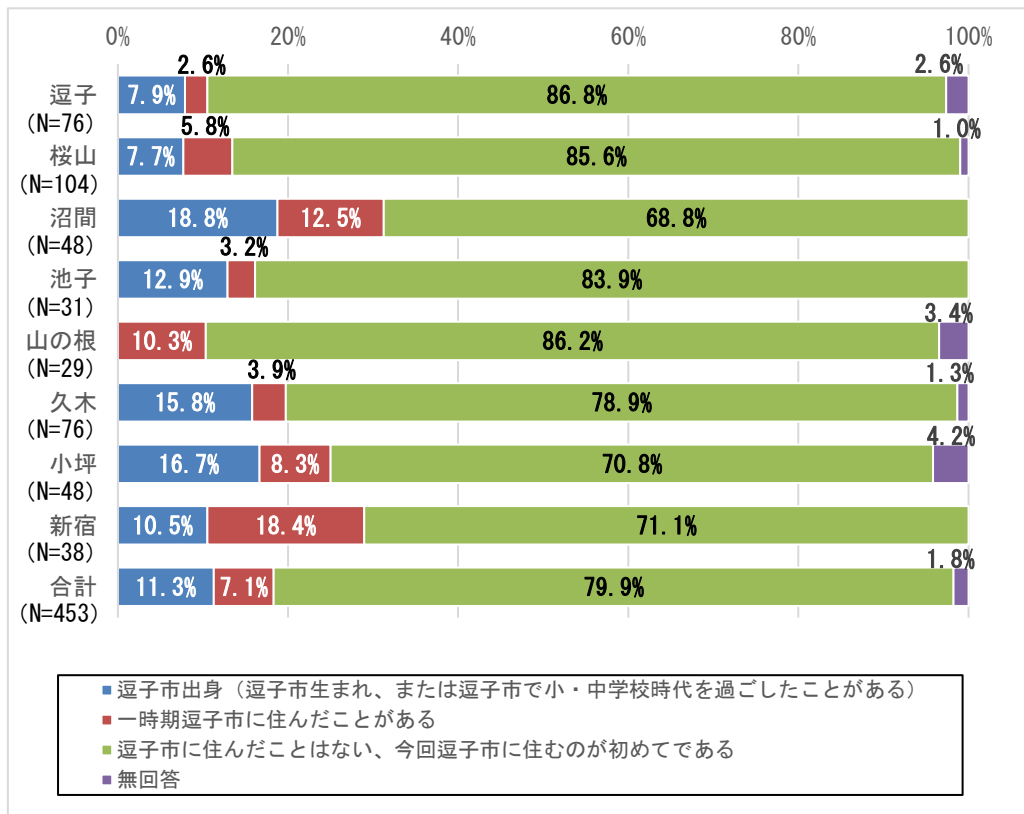


(2) 年齢別



(注) 年齢無回答を除く。

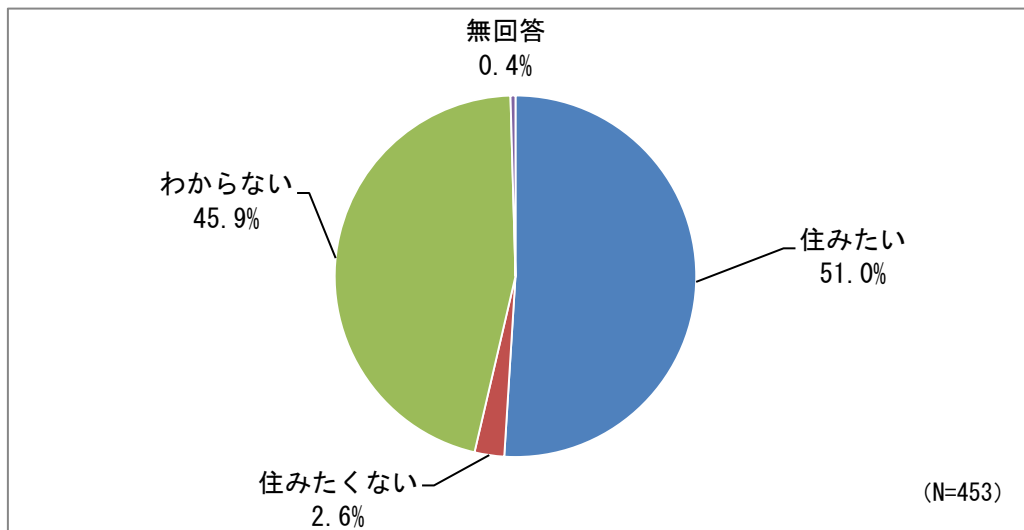
(3) 地域別



(注) 地域無回答を除く。

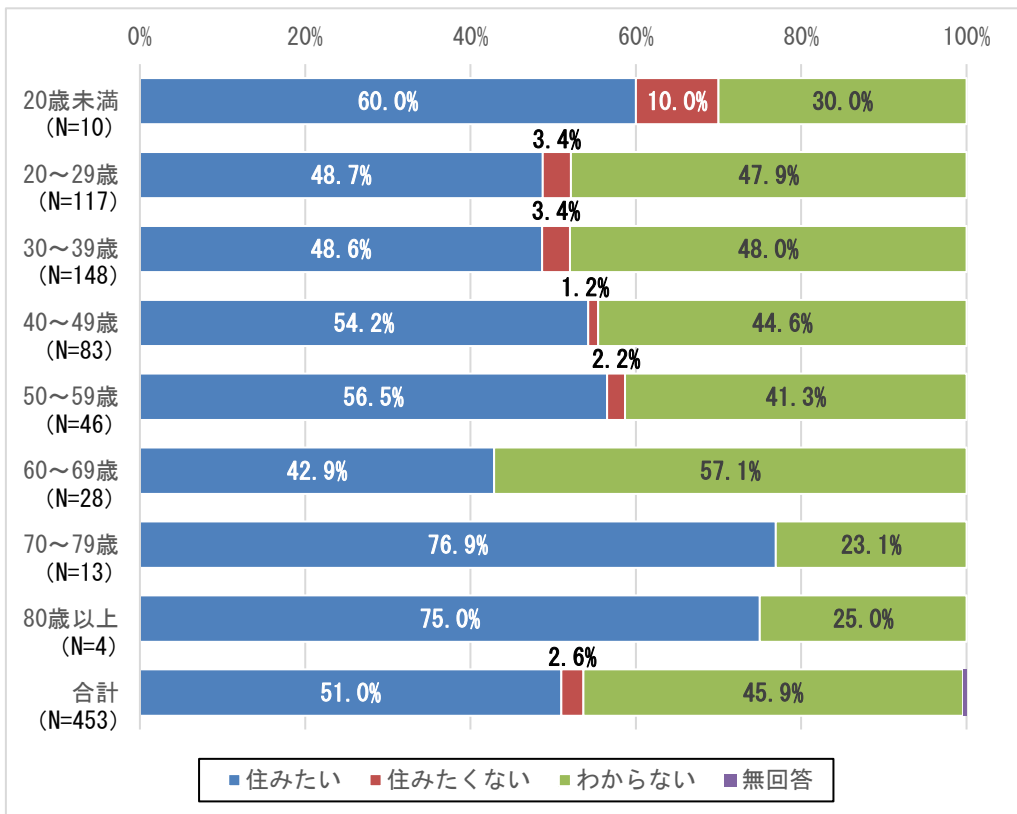
2-4. 逗子市にずっと住みたいと思うか

(1) 全体



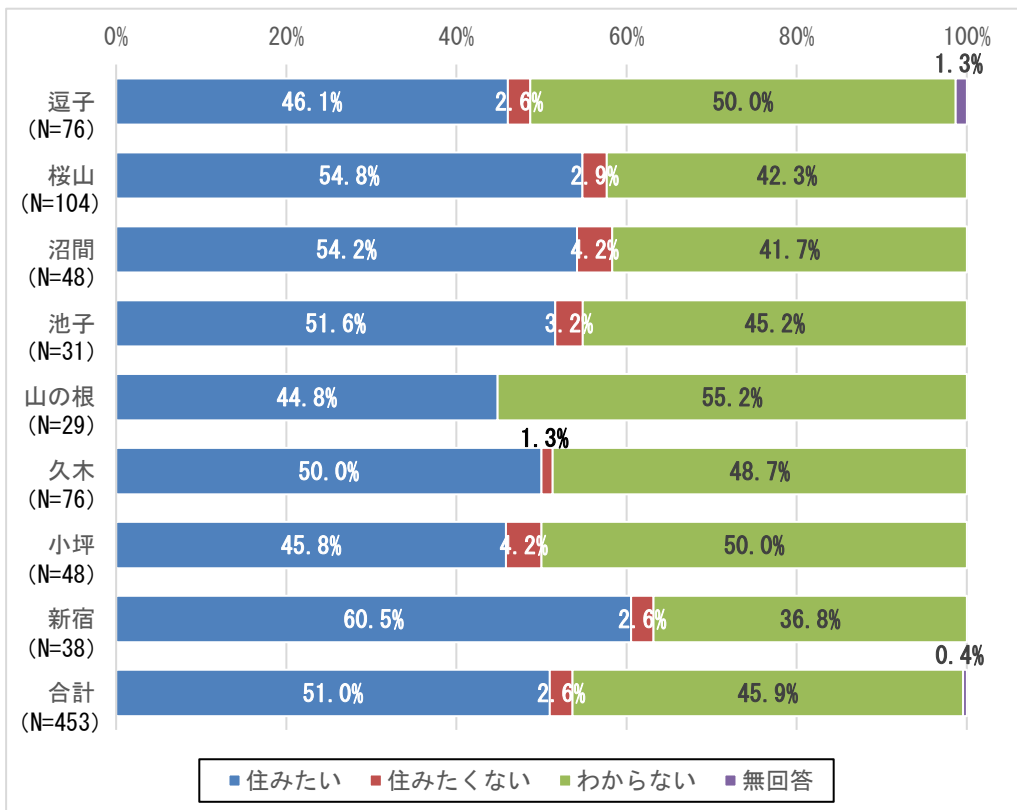
IV. 平成 29 年度転入者・転出者アンケート集計結果

(2) 年齢別



(注) 年齢無回答を除く。

(3) 地域別



(注) 地域無回答を除く。

2-5. 回答者のプロフィール

(1) 転入元（市町村）

※ 5 件以上転入した転入元

市町村名	件
横浜市	104
鎌倉市	38
横須賀市	29
川崎市	22
葉山町	15
世田谷区	13
目黒区	12
大田区	12
藤沢市	10
海外	9
港区	7
江東区	7
杉並区	6
茅ヶ崎市	6
品川区	5
練馬区	5
江戸川区	5

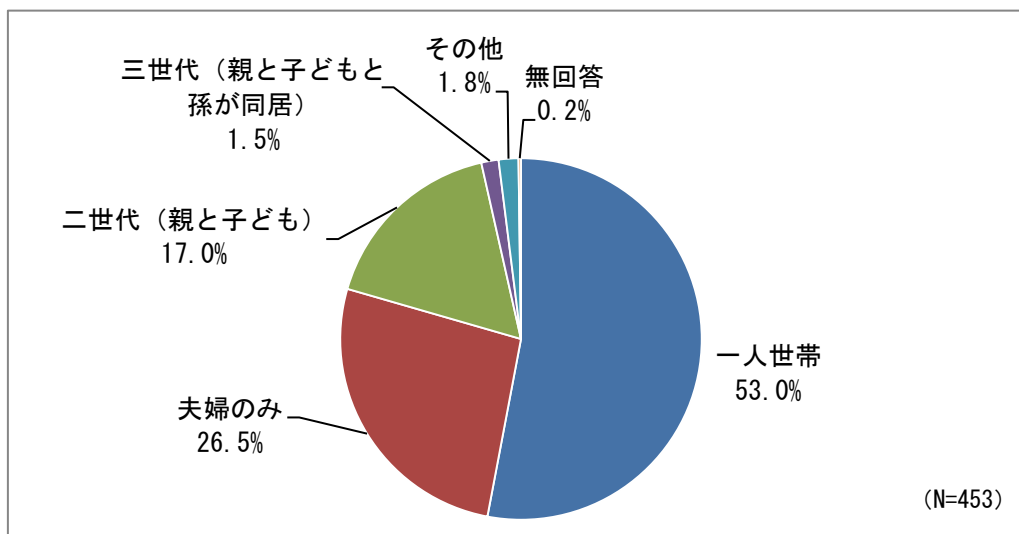
(注) 市町村名無回答 13 件を除く。

※政令指定都市（行政区単位）で 5 件以上転入した転入元

市町村名	件
横浜市金沢区	16
横浜市神奈川区	13
川崎市中原区	10
横浜市戸塚区	8
横浜市中区	7
横浜市港北区	7
横浜市港南区	7
横浜市磯子区	6
横浜市栄区	6
横浜市西区	5
横浜市中区	5
川崎市多摩区	5

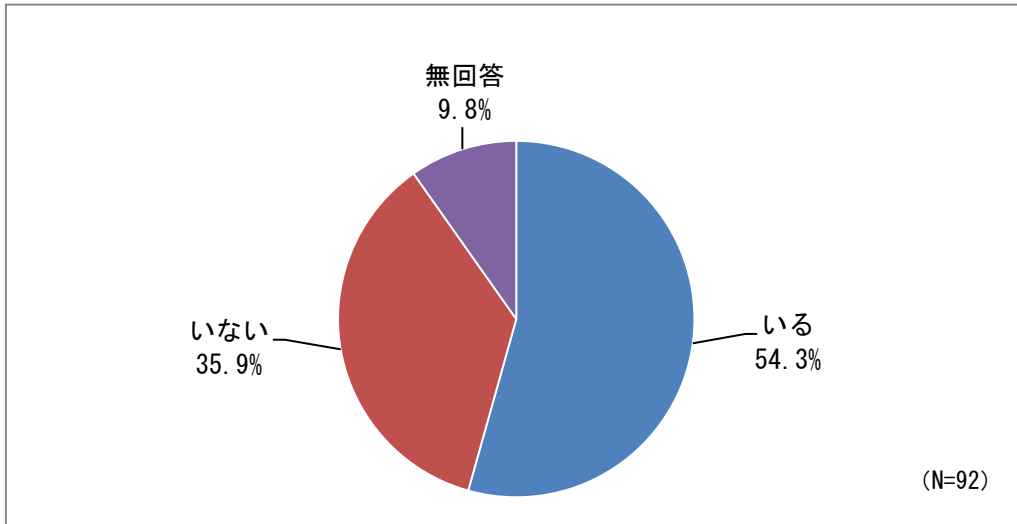
(注) 市町村名無回答 6 件を除く。

(2) 転入する世帯の状況

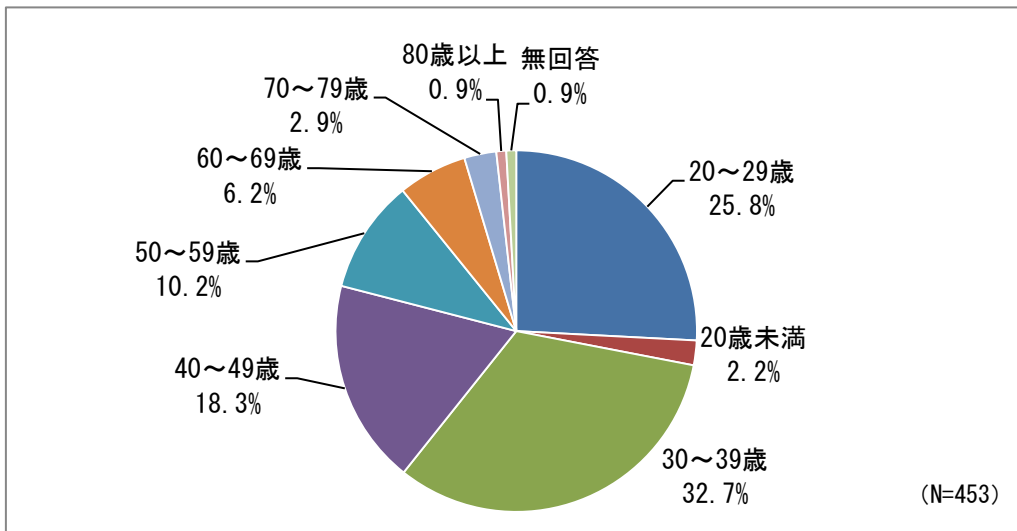


IV. 平成 29 年度転入者・転出者アンケート集計結果

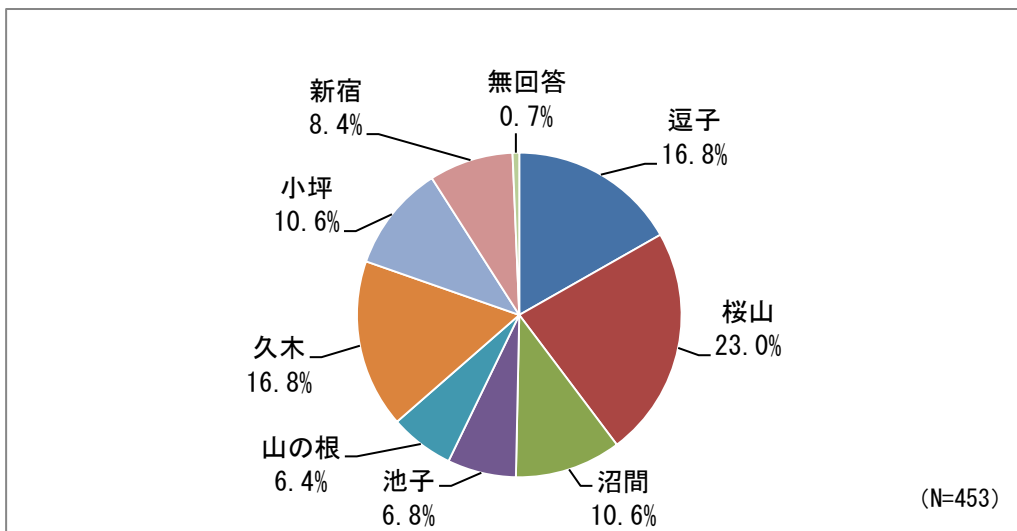
(3) (子どもと一緒に転居をした場合) 中学生以下の子どもの有無



(4) 転入の一番のきっかけとなった人の年齢

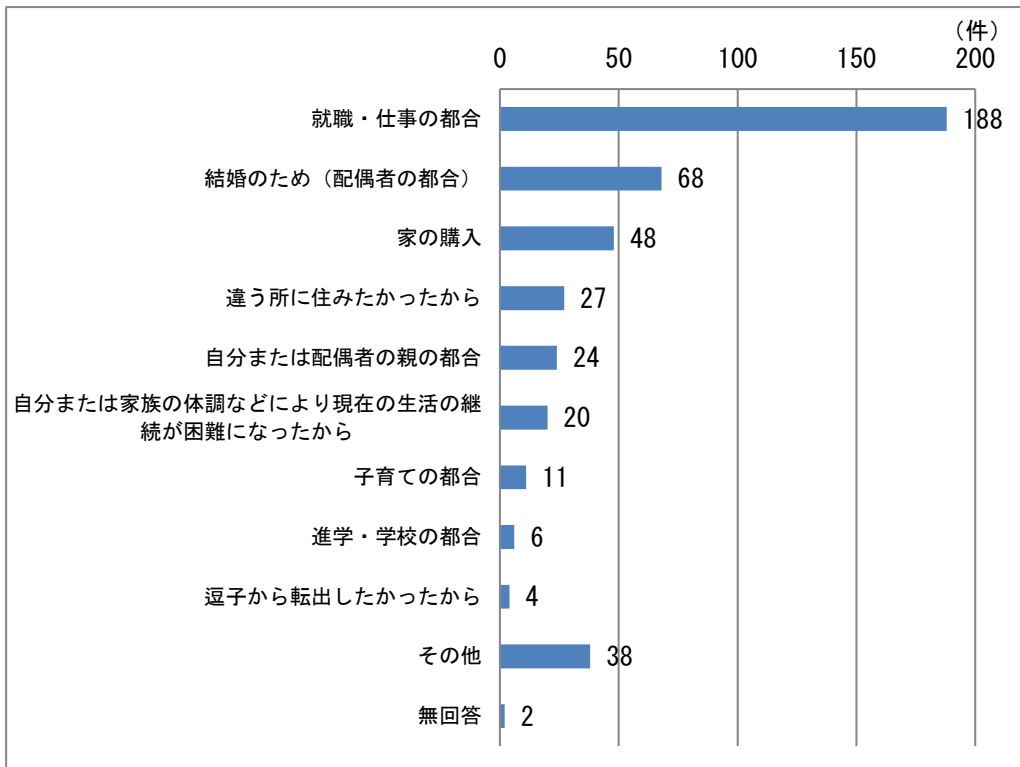


(5) 市内の居住地



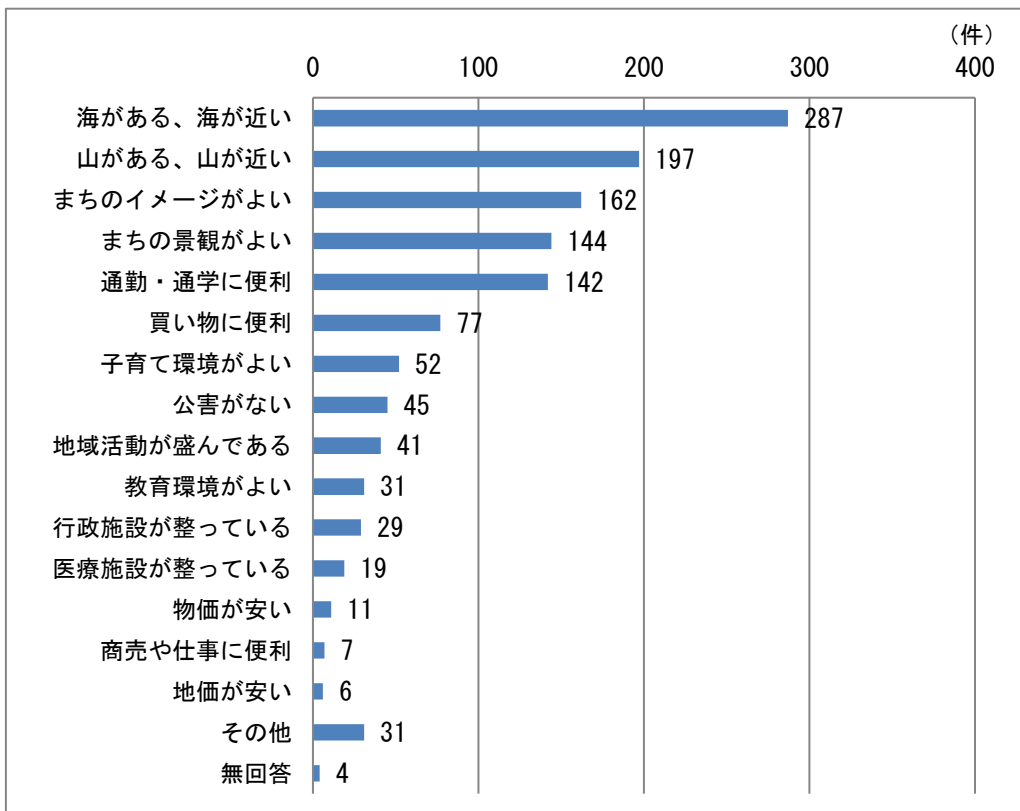
3. 市外転出者アンケート集計結果

3-1. 転出の事情、きっかけ（複数回答）



3-2. 逗子市に住んでいて良かったと感じた事柄（複数回答）

(1) 全体



IV. 平成 29 年度転入者・転出者アンケート集計結果

(2) 年齢別

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答	合計
海がある、海が近い	10	97	61	66	28	11	7	6	1	287
山がある、山が近い	4	68	46	40	21	8	5	4	1	197
まちのイメージがよい	8	59	37	37	11	3	2	5		162
まちの景観がよい	4	53	37	29	11	3	5	2		144
通勤・通学に便利		55	34	33	11	8	1			142
買い物に便利	1	21	23	19	5	5	2	1		77
子育て環境がよい	3	13	10	14	8	1	2	1		52
公害がない	2	13	8	9	4	3	4	2		45
地域活動が盛んである	2	16	9	8	4		1	1		41
教育環境がよい	2	13	7	8	1					31
行政施設が整っている		8	10	8	2			1		29
医療施設が整っている	1	4	8	3	2	1				19
物価が安い		3	3	4		1				11
商売や仕事に便利		3	3	1						7
地価が安い		4	1	1						6
その他		10	6	4	2	6	1	1	1	31
無回答		2	1			1				4

(凡例)

80～	
50～79	
25～49	
0～24	

(3) 地域別

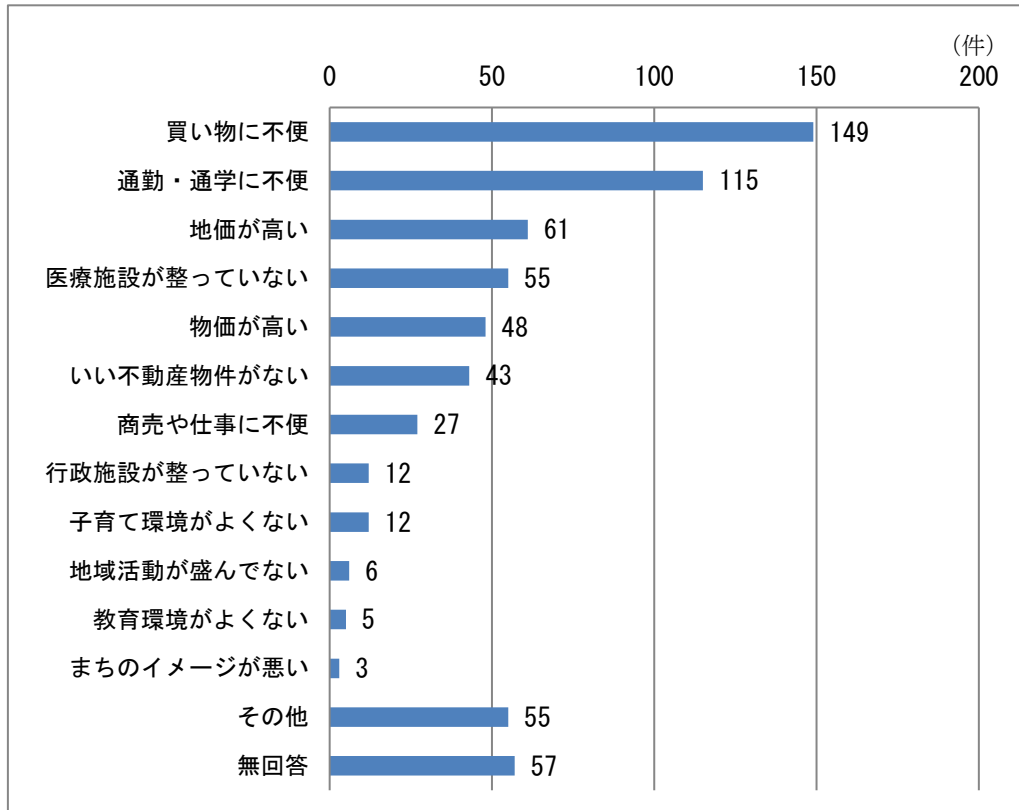
	逗子	桜山	沼間	池子	山の根	久木	小坪	新宿	無回答	合計
海がある、海が近い	55	54	25	26	20	43	43	20	1	287
山がある、山が近い	37	34	29	21	13	34	18	11		197
まちのイメージがよい	34	27	20	12	10	28	21	9	1	162
まちの景観がよい	32	29	16	11	6	22	20	8		144
通勤・通学に便利	33	34	17	12	16	22	4	4		142
買い物に便利	24	16	11	1	6	16	2	1		77
子育て環境がよい	5	12	3	8	4	5	10	5		52
公害がない	8	9	5	5	2	11	4	1		45
地域活動が盛んである	11	12	3	4	3	4		4		41
教育環境がよい	7	3	5	2	2	6	2	3	1	31
行政施設が整っている	12	7	3	2	2	2	1			29
医療施設が整っている	3	5	5	2	1	2		1		19
物価が安い	3	1	2		2	3				11
商売や仕事に便利	3	1			1	1	1			7
地価が安い	1	2	1	1		1				6
その他	3	5	6	2	4	8	3			31
無回答		2		2						4

(凡例)

45～	
30～44	
15～29	
0～14	

3-3. 返子市に住んでいて不便または不満に感じた事柄（複数回答）

(1) 全体



(2) 年齢別

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答	合計
買い物に不便	4	52	31	28	17	10	5	2		149
通勤・通学に不便	5	37	29	28	6	5	3	2		115
地価が高い	4	20	12	17	5	2	1			61
医療施設が整っていない		12	11	12	14	2	3	1		55
物価が高い	2	17	8	10	4	3	2	2		48
いい不動産物件がない	2	13	11	9	6	2				43
商売や仕事に不便	1	12	7		3	2		2		27
行政施設が整っていない		2	1	4	2	1	2			12
子育て環境がよくない	1	2	4	3	1	1				12
地域活動が盛んでない		1		2	3					6
教育環境がよくない		2	2	1						5
まちのイメージが悪い			1	1	1					3
その他	2	18	11	14	5	2	1	1	1	55
無回答		27	15	7	2	4	1		1	57

(凡例)

45～	
30～44	
15～29	
0～14	

IV. 平成 29 年度転入者・転出者アンケート集計結果

(3) 地域別

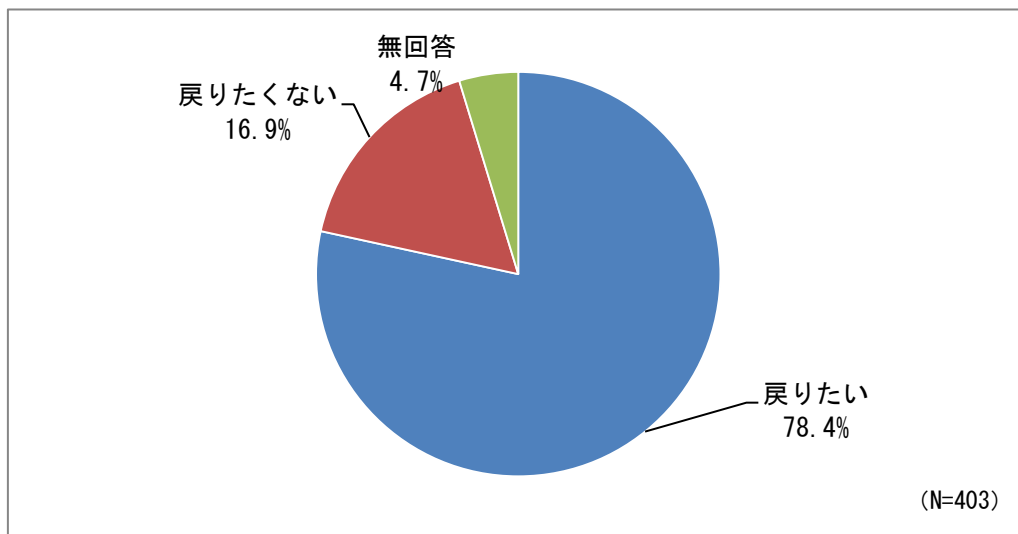
	逗子	桜山	沼間	池子	山の根	久木	小坪	新宿	無回答	合計
買い物に不便	17	26	23	22	7	20	26	8		149
通勤・通学に不便	20	13	10	7	7	21	30	6	1	115
地価が高い	11	14	8	4	6	11	5	2		61
医療施設が整っていない	9	8	3	6	2	14	11	2		55
物価が高い	8	8	7	11	4	3	5	2		48
いい不動産物件がない	8	8	9	2	3	10	3			43
商売や仕事に不便	4	4	5	1	1	3	6	3		27
行政施設が整っていない	2	3	1	2	1		1	2		12
子育て環境がよくない	4	5		1	1		1			12
地域活動が盛んでない	1	1	2	1			1			6
教育環境がよくない	2	1			1		1			5
まちのイメージが悪い			1			1	1			3
その他	5	16	9	3	5	12	3	2		55
無回答	19	14	3	5	3	7	3	3		57

(凡例)

30～	
20～29	
10～19	
0～9	

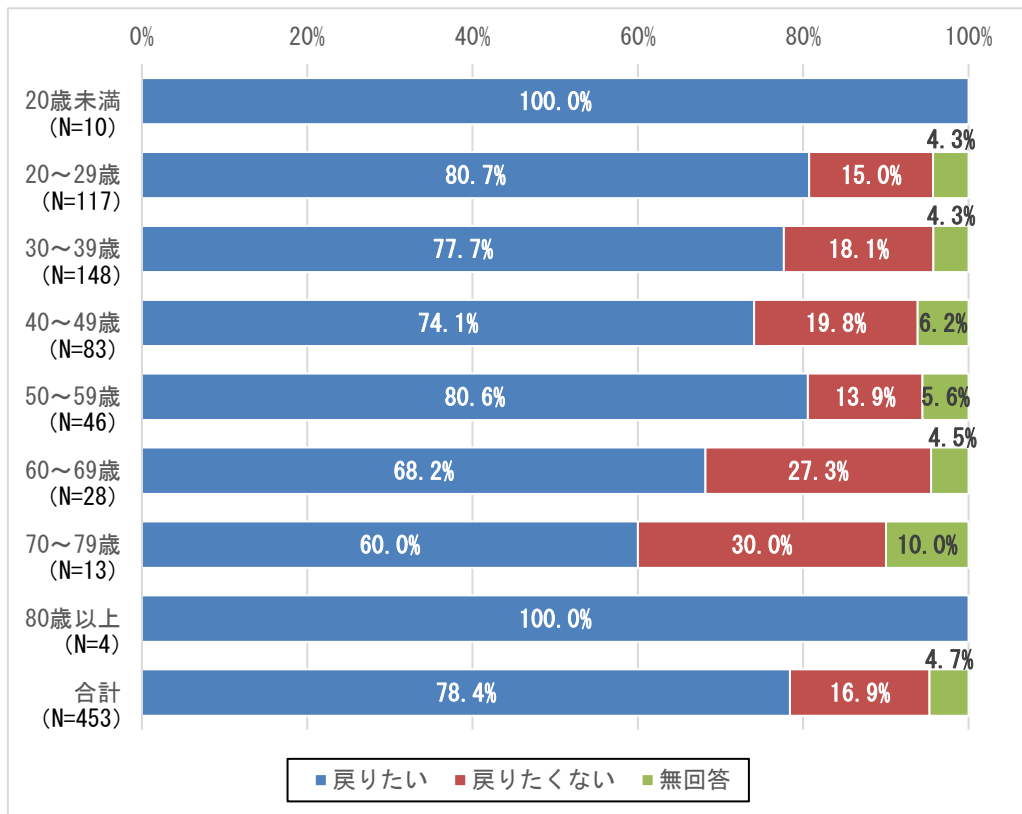
3-4. 事情が許すのであれば、逗子市に戻りたいかどうか

(1) 全体



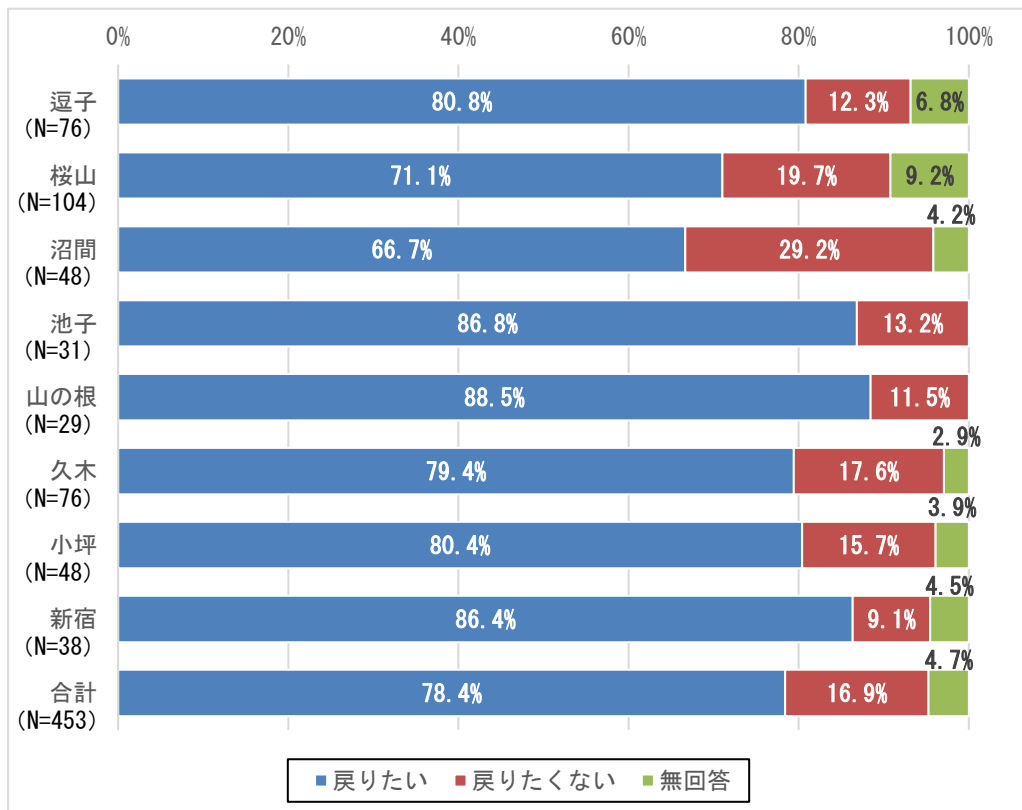
IV. 平成 29 年度転入者・転出者アンケート集計結果

(2) 年齢別



(注) 年齢無回答を除く。

(3) 地域別



(注) 地域無回答を除く。

3-5. 回答者のプロフィール

(1) 転出先（市町村）

※ 5 件以上転出した転出先

市区町村名	件
横浜市	97
鎌倉市	33
横須賀市	26
川崎市	22
葉山町	20
藤沢市	17
世田谷区	10
海外	9
相模原市	7
大田区	6

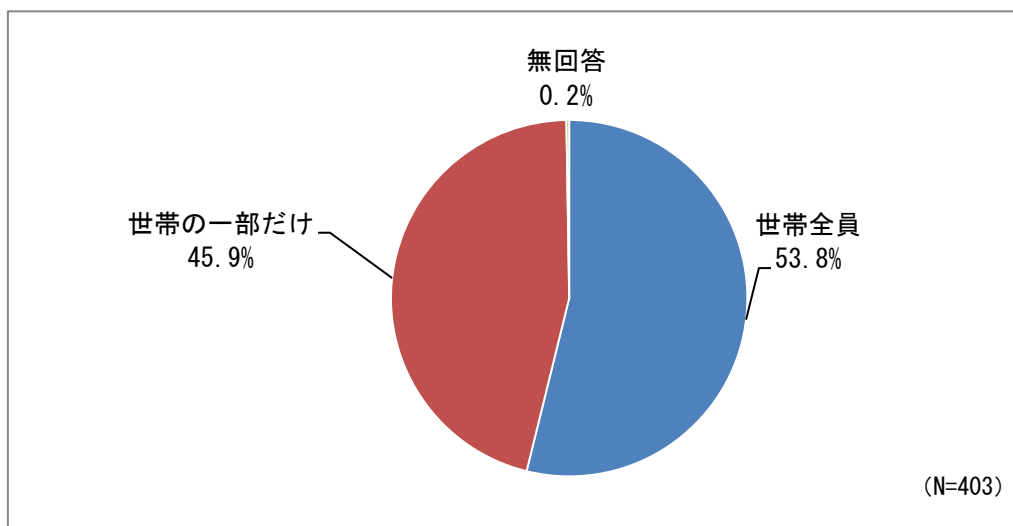
(注) 市町村名無回答 16 件を除く。

※政令指定都市（行政区単位）で 5 件以上転出した転出先

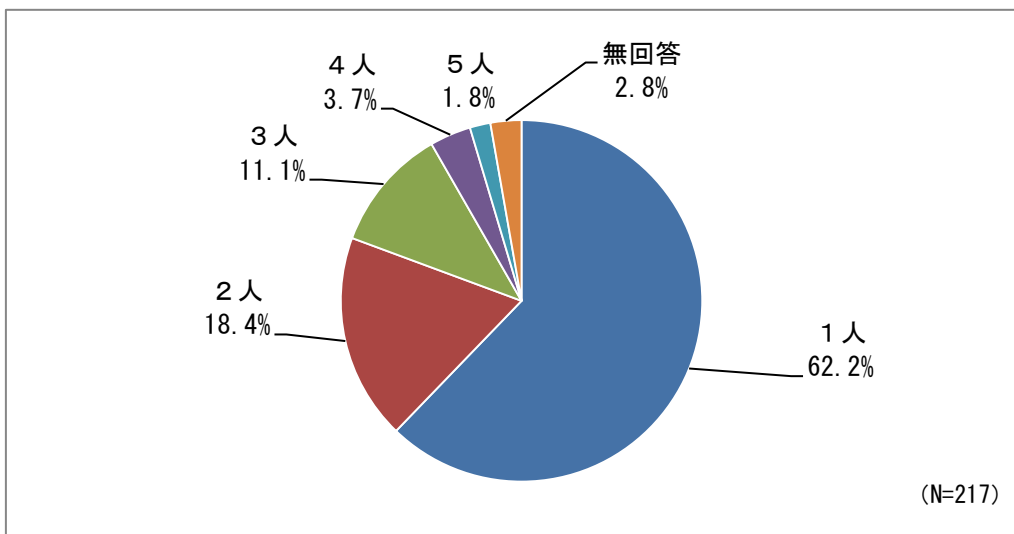
市区町村名	件
横浜市栄区	12
横浜市金沢区	10
横浜市鶴見区	7
横浜市港南区	7
横浜市青葉区	7
横浜市南区	6
横浜市保土ヶ谷区	6
横浜市港北区	6
横浜市戸塚区	6
横浜市泉区	6
横浜市磯子区	5
川崎市中原区	5

(注) 市町村名無回答 14 件を除く。

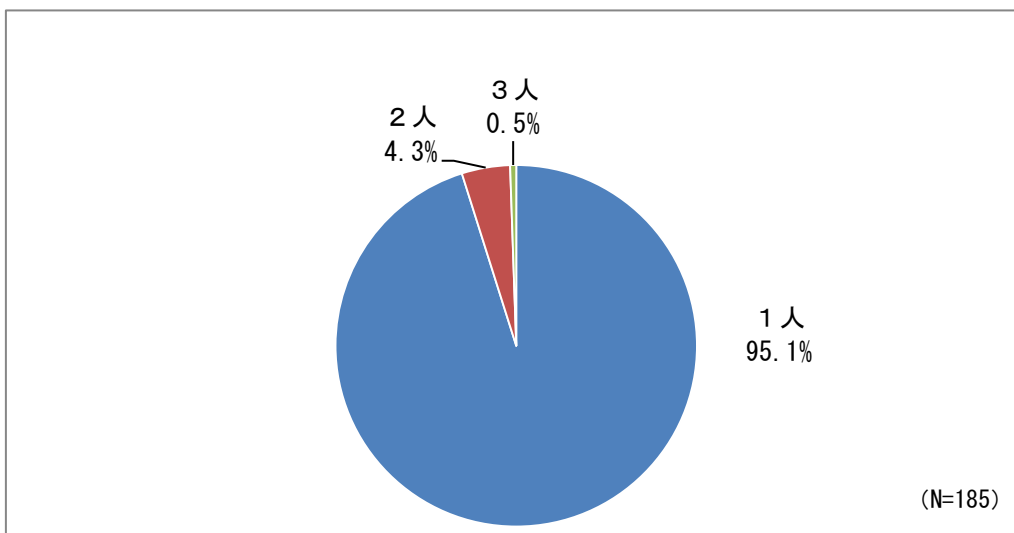
(2) 転出時の世帯の状況（世帯員 or 世帯の一部）



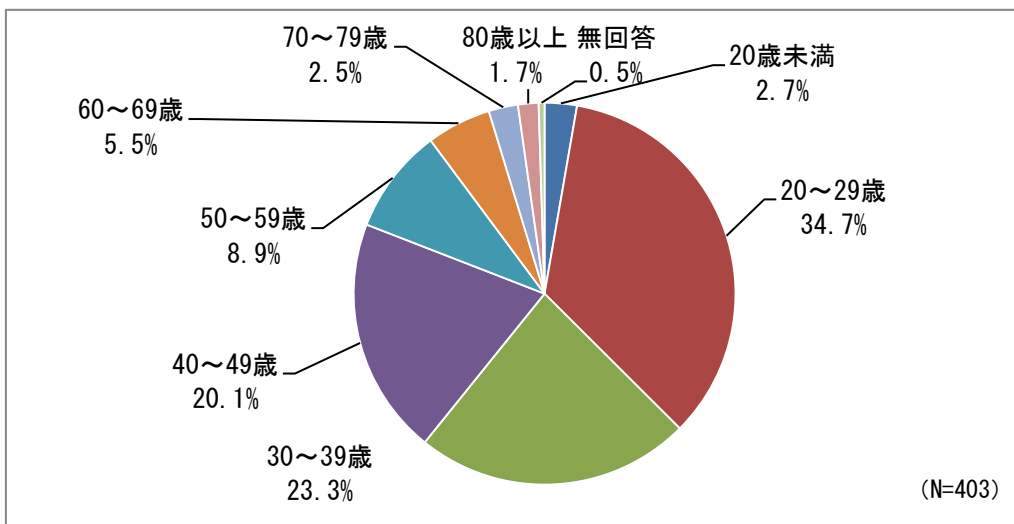
(3) 世帯全員が転出した場合の転出者数



(4) 世帯の一部転出した場合の転出者数

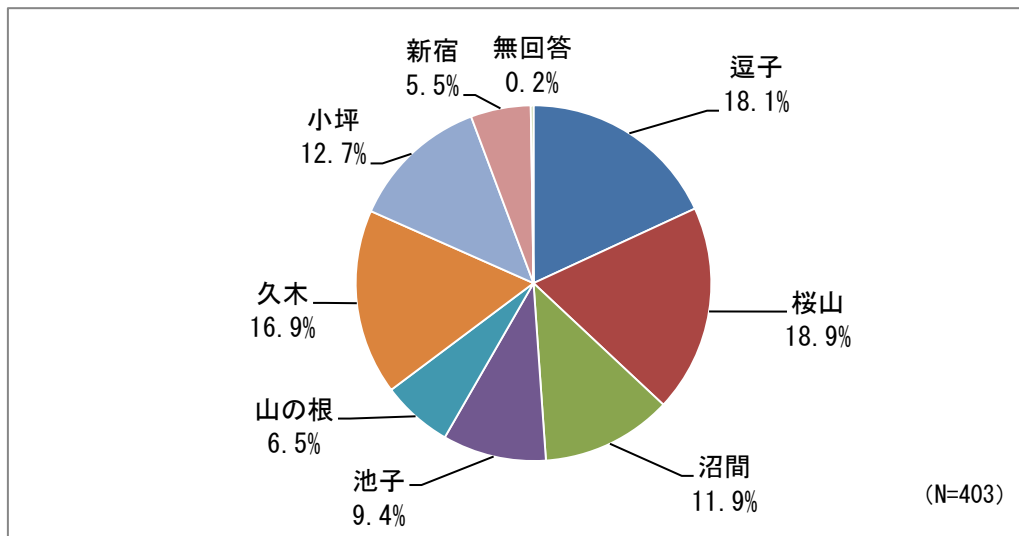


(5) 転出の一番のきっかけとなった人の年齢



IV. 平成 29 年度転入者・転出者アンケート集計結果

(6) 市内の居住地



4. 調査票

(転入者アンケート)

転入	逗子市へ転入される皆様へ
今後のまちづくりの参考とさせていただくため、アンケート調査へのご協力をお願いいたします。	
Q1 転入前の住所地はどちらですか。政令指定都市の場合は[]内もご記入ください。	
<input style="width: 90%;" type="text" value="都道府県"/>	<input style="width: 90%;" type="text" value="市区町村"/> (<input style="width: 90%;" type="text" value="区"/>)
Q2 転入される家族構成についてお答えください。(〇はそれぞれ1つだけ)	
1 一人世帯 2 夫婦のみ 3 二世帯(親と子ども) → 4 三世帯(親と子どもと孫が同居) → 5 その他() →	Q2-1 中学生以下の子どもの有無 (出産予定を含む) 1 いる 2 いない
Q3 転入の事情、きっかけを選んでください。(〇は複数可)	
1 就職・仕事の都合 2 進学・学校の都合 3 子育ての都合 4 自分または配偶者の親の都合 5 結婚のため(配偶者の都合) 6 家の購入 7 逗子に住みたかったから 8 その他()	
Q4 今回転入される一番のきっかけとなった方の年齢を選んでください。(〇は1つだけ)	
1 20歳未満 2 20~29歳 3 30~39歳 4 40~49歳 5 50~59歳 6 60~69歳 7 70~79歳 8 80歳以上	
Q5 市内のお住まいの地域はどちらですか。(〇は1つだけ)	
1 逗子 2 桜山 3 沼間 4 池子 5 山の根 6 久木 7 小坪 8 新宿	
Q6 逗子市を転入先として選んだ理由を選んでください。(〇は複数可)	
1 通勤・通学に便利 2 買い物に便利 3 商売や仕事に便利 4 医療施設が整っている 5 行政施設が整っている 6 物価が安い 7 地価が安い 8 子育て環境がよい 9 教育環境がよい 10 海がある、海が近い 11 山がある、山が近い 12 まちの景観がよい 13 まちのイメージがよい 14 家族・親戚が近くにいる 15 友人・知人が近くにいる 16 その他()	
Q7 以前、逗子市に住んだことがありますか。(〇は1つだけ)	
1 逗子市出身(逗子市生まれ、または逗子市で小・中学校時代を過ごしたことがある) 2 一時期逗子市に住んだことがある 3 逗子市に住んだことはない、今回逗子市に住むのが初めてである	
Q8 逗子市にずっと住みたいと思いますか。(〇は1つだけ)	
1 住みたい 2 住みたくない 3 わからない	
ご協力ありがとうございました	

(転出者アンケート)

転出

逗子市から転出される皆様へ

今後のまちづくりの参考とさせていただくため、アンケート調査へのご協力をお願いいたします。

Q1 転出先はどちらですか。政令指定都市の場合は[]内もご記入ください。

都道府県	市区町村	() 区
------	------	-------

Q2 転出される方と、その人数をお答えください。(〇は1つだけ)

1 世帯全員 () 人	2 世帯の一部だけ () 人
--------------	-----------------

Q3 転出の事情、きっかけを選んでください。(〇は複数可)

1 就職・仕事の都合	2 進学・学校の都合	3 子育ての都合
4 自分または配偶者の親の都合	5 結婚のため(配偶者の都合)	6 家の購入
7 逗子から転出したかったから	8 違う所に住みたかったから	
9 自分または家族の体調などにより現在の生活の継続が困難になったから		
10 その他 ()		

Q4 今回転出される一番のきっかけとなった方の年齢を選んでください。(〇は1つだけ)

1 20歳未満	2 20～29歳	3 30～39歳	4 40～49歳
5 50～59歳	6 60～69歳	7 70～79歳	8 80歳以上

Q5 お住まいだった地域はどちらですか。(〇は1つだけ)

1 逗子	2 桜山	3 沼間	4 池子
5 山の根	6 久木	7 小坪	8 新宿

Q6 住んでいて良かったと感じた事柄を選んでください。(〇は複数可)

1 通勤・通学に便利	2 買い物に便利	3 商売や仕事に便利
4 医療施設が整っている	5 行政施設が整っている	6 物価が安い
7 地価が安い	8 子育て環境がよい	9 教育環境がよい
10 海がある、海が近い	11 山がある、山が近い	12 まちの景観がよい
13 公害がない	14 地域活動が盛んである	15 まちのイメージがよい
16 その他 ()		

Q7 住んでいて不便または不満に思われた事柄を選んでください。(〇は複数可)

1 通勤・通学に不便	2 買い物に不便	3 商売や仕事に不便
4 医療施設が整っていない	5 行政施設が整っていない	6 物価が高い
7 地価が高い	8 子育て環境がよくない	9 教育環境がよくない
10 いい不動産物件がない	11 地域活動が盛んでない	12 まちのイメージが悪い
13 その他 ()		

Q8 事情が許すのであれば、逗子市に戻りたいと思いますか。(〇は1つだけ)

1 戻りたい	2 戻りたくない
--------	----------

ご協力ありがとうございました

平成 29 年度
逗子市人口データ集

2018 年（平成 30 年）6 月

逗子市 経営企画部 企画課

〒249-8686 神奈川県逗子市逗子 5 丁目 2 番 16 番

電話 046-873-1111（代表）

FAX 046-873-4520

E-mail kikaku@city.zushi.lg.jp